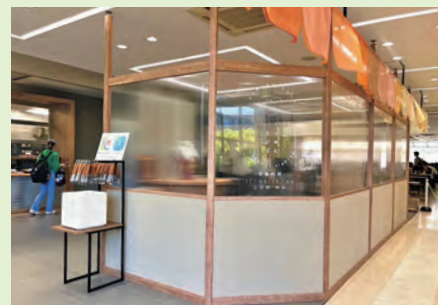


同窓会報



- ① 緑いっぱいの大学構内(正面は図書館)
- ② えっぴめばん始めました!
- ③ 第73回学生祭 サブステージにて
- ④ 松山城でお花見
- ⑤ 保存工事完了間近の道後温泉本館
- ⑥ 冬を感じるライトアップメイプルロード

愛媛大学文理学部人文学科及び法文学部同窓会

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内 tel.090-1002-6376

E-mail:support@ehime-u-houbun-dousoukai.com [HP] <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com>



本部総会・各支部総会のお知らせ

関西支部（にきたつ会）

日 時：2024年11月24日（日）
12:00～15:00
場 所：大阪ガーデンパレス
（大阪市淀川区西宮原1-3-35）
会 費：5,000円

※参加を希望される方は、会報に同封のアンケートハガキにチェックを入れて10月18日（金）までにご投函ください。
※同窓会HPからもお申込みできます。
<https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/>

第17回本部総会

四国支部総会

日 時：2024年11月10日（日）
13:00～本部・四国支部総会
15:00～懇親会
場 所：ホテルマイステイズ松山
（松山市大手町1丁目10-10）
会 費：5,000円

中国支部

日 時：2024年9月14日（土）
13:00～ 法文学部支部総会
14:00～ 校友会との合同講演会
15:00～ 懇親会

場 所：広島ガーデンパレス
（広島市東区光町1-15-21）

会 費：5,000円
（2020年3月～2024年3月卒業生は無料）

※参加を希望される方は、下記へご連絡ください。
担当：難波携帯 090-7777-6671

同窓会へ寄付をお願いいたします

1,453,000円 総数304名

（2024年3月31日現在）

2023年度もたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。有効に使わせていただきます。

※18・19ページに寄付者一覧と応援メッセージを掲載しています。

「ふるさと応援制度」を5年前から導入しました。「〇〇支部へ寄付」と記載された方の寄付額の半分以上を指定された支部に交付しました。

引き続きこの制度を活用して、支部活動への支援をお願いします。本部でも、寄付や本部会計の中から支部活動を支援しております。

また、法文学部学生支援のため、愛媛大学基金へ100

万円を寄付しました。法文学部生の海外派遣に役立てられています（5P「青い地球交流記」をご覧ください）。

プレゼント

2023年度は、寄付をいただいた方に「ぶんぼーハンドタオル」（今治タオル）をプレゼントいたしました。

大好評を頂いたため、2024年度も



「ぶんぼーハンドタオル
（グレーVer）」

をプレゼントいたします。



同窓会報の郵送停止をご希望される方は、アンケートハガキの ☐ にチェックを入れてご返送ください。

同窓会報は同窓会ホームページでもご覧いただけます（アドレスは表紙にあります）。

スマートフォンをお持ちの方は、同窓会LINEアカウントにご登録ください（3ページにQRコードがあります）。

目次



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

法文学部同窓会報
第28号

各支部総会案内/寄付（返礼品）	2
学生アンバサダー/LINE登録	3
卒業式/入学式	4
青い地球交流記	5
支部だより	6
理事会報告	8
愛媛大学学歌・本部総会案内	9
俳句投句 選句結果発表&講評	10
人事異動	11
インド体験あれこれ	12
退職教員	15
卒業生から	16
寄付者御芳名一覧	18
応援メッセージ/Q&A	19
寄稿文・同期会	20

奈良・飛鳥路ウォーキング/同期会	21
提供講座『社会と人間』報告	22
講師の方に感想をお聞きました！	23
サークル紹介/ヨット部	24
学生アンバサダーのページ	26
研究室紹介（社会科学・泉先生）	28
（人文学・池先生）	29
Career Report	30
パズル/感想/編集後記	32

題字：柴田 祐昭

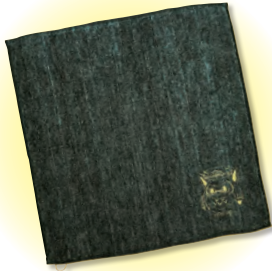
（法文学部人文学科史学専攻・第8回卒）

〔明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・
県展審査員・毎日書道展審査員〕

2023年4月に始動した学生アンバサダー。
手探り状態でのスタートでしたが、各支部総
会へ参加して大先輩たちとつながりを持っ
たり、お城下リレーマラソンへ参加したり、寄
付の返礼品を企画したりと大活躍してくれ
ました！2年目となる今年は卒業された方、
新しく入った方などメンバー構成も新たに、
法文学部同窓会に新しい風を吹かせます！



(左から)
松本会長、大塚さん、清水さん、
大野さん、岡本さん、畠中副会長



前回寄付返礼品の「ぶんぽー
タオル」、実はアンバサダーが企
画から業者への折衝・発注まで
全てやりました！

アンバサダー特集も
大好評でした！



お城下リレーマラソンでは愛媛大学法文学部の存在
を見せつけ、見事ベストドレッサー賞も受賞しました！

学生アンバサダー 法文学部同窓会 LINE

LINEで法文学部同窓会とつながろう



「図書館の前に川が流れてる!」、「日赤が新しくなった!」といった愛
大や愛大周辺の『今』や、現役愛大生が送っているキャンパスライフの
『今』をお届け!ぜひLINEでお友達登録をして母校とつながり、昔から
変わらない懐かしい愛大や新しくなった最新の愛大とつながりましょう!

今すぐ
友達追加!

スマホのカメラアプリで
QRコードを読み取っててください



2023 (令和5)年度 卒業式

2024.3.25(月)

【学位記授与式】

10:00～

愛媛県県民文化会館
(メインホール)

法文学部卒業生数

◆人文社会学科 (9月卒業者含む) (379名)

昼間主 282名 夜間主 97名

◆人文社会科学研究科 (7名)

法文学専攻 法学コース 2名

法文学専攻 人文学コース 5名

法文学部卒業記念祝賀会



法文学部生代表
人文社会学科 宇高萌子さん



2024 (令和6)年度 入学式

2024.4.8(月)

10:00～

愛媛県県民文化会館
(メインホール)

法文学部入学者数

◆人文社会学科 (387名)

昼間主 287名 夜間主 100名

◆人文社会学科 (3年次編入) (28名)

昼間主 10名 夜間主 18名

◆人文社会科学研究科 (11名)

法文学専攻 法学コース 1名

法文学専攻 人文学コース 10名



式辞を述べる仁科弘重学長



「青い地球交流記」(ダイジェスト版)

2023年度、『青い地球』は創刊20周年を迎えました。そこで今年は、創刊時の企画責任者であった井上彰先生によるこの20年をふりかえるコラムと、ドイツ(フライブルク)での語学留学体験記をご紹介します。法文学部同窓会の皆様方の多大なるご支援に心より御礼申し上げますとともに、今後とも何卒どうぞよろしく願ひ申し上げます。
(『青い地球2023』編集長より)

『青い地球』創刊20周年に寄せて

創刊号企画責任者 井上 彰(英米文学)



今私の手元に2005年3月に発行された『四国から四つの国へ 海外研修報告書』があります。この冊子では、表題のとおり、2004年度に実施された中国、韓国、ドイツ、イギリス4カ国での語学・文化研修が紹介されています。最初4カ国だった学生の渡航先も、法文学部人文社会学科が誕生した2016年には、24カ国にまで増えました。さらに渡航の目的も当初の語学・文化研修に止まらず、インドやアフリカでのフィールドワーク、国際会議へのオブザーバー参加、日本語指導補助など、実に多岐に渡っています。この年に名称が海外研修報告書から『青い国四国発 青い地球交流記 海外体験ブックレット』へと変わったのも頷けます。



2005年3月刊行の創刊号

ところが順風満帆に見えた法文学部生の海外渡航も、2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、中断を余儀なくされました。しかし海外体験ブックレットは、愛媛大学法文学部の元留学生から寄せられたメッセージや、オンライン研修体験談などを掲載した特別号として発行され続け、途絶えることはありませんでした。そして2023年、円安やロシアによるウクライナ侵攻の煽りを受けつつも、海外渡航は再びコロナ禍前の状態に戻りつつあります。最新の『海外体験ブックレット 2023』からはついに「特別号」という3文字が消えました。約4年間続いた“the winter of our discontent”「われらが不満の冬」(ウィリアム・シェイクスピア『リチャード三世』第1幕第1場1行目)から脱したのが20周年という節目の年に当たったことを喜びたいと思います。



2016年には渡航先が24カ国に



コロナ禍での「特別号」

語学留学体験記

ドイツ(フライブルク)「自ら行動する経験」

奥条 真那(3回生=掲載時、現在4回生)



フライブルク大学の校舎。壁には“Die Wahrheit wird euch frei machen(真実は君たちを自由にする)”と書かれている



旧フライブルク市役所の前の石畳にある松山市の市章

私はフライブルク大学のSommer Uni(夏期大学)というドイツ語を学べるプログラムに参加し、約1か月間ドイツに滞在しました。フライブルクはスイスやフランスとの国境も近く、自然豊かな都市です。学園都市で落ち着いた雰囲気もあり、学習のためにはぴったりの環境だと思いました。松山市はフライブルクの姉妹都市でもあり、それをきっかけに現地の先生方とも話が広がり、在学中にフライブルクを訪れた意味は大きかったと感じています。これまで普段の生活でドイツ語を使う機会はほとんどなかったので、フライブルク駅に到着してから、最初にドイツ語で道を訪ねるときは緊張しましたが、聞き直すと英語で答えてくれたり、ゆっくり話してくれるなど親切な対応に緊張が少し和らぎました。

プログラムには他のヨーロッパ諸国やアジア、北米から、高校生、大学生、大学院生、社会人など幅広い年齢層の方々が参加していて、様々な文化を知るきっかけとなりました。レクリエーションではハイキングをして、一人では行けなかったであろう森の中の素敵なレストランに案内してもらえました。また、ドイツ語を使っている言葉当てゲームなどに参加して楽しみながら学ぶことができ、最終的にはドイツ語でフライブルクでの経験について簡単なプレゼンテーションをすることもできました。街中や大学には戦争についての石碑や記念碑なども多く、歴史的に学ぶことも多い毎日でした。

事前に愛媛大学でのドイツ語の歴史文献の講読の授業で学んで得た知識もあり、ユダヤ系で歴史を専攻する学生と話すこともできました。

滞在時はドイツ語でWohngemeinschaft(ポングマインシャフト)と呼ばれるフラットシェア型の住居で生活しました。そこではフラットメイトにキッチンを使い方を教えてもらったり、お互いの出身地の話をしたり、時には作ったご飯をお裾分けしてもらったりと、この環境ならではの経験をすることができました。自炊をしたり、お店や大学の食堂でドイツ料理はもちろん、トルコ料理や中東料理などの色々な国の料理やベジタリアン料理も楽しむことができました。

この留学が現在のドイツ語学習のモチベーションにも繋がっています。今後さらにドイツ語やドイツの文化を学んで、いつかまたドイツに行きたいと思う日々です。短い期間でも違う環境に身を置くこと、自ら行動する経験は自分の考え方が変わるきっかけにもなりました。チャンスがあれば、ぜひぜひ挑戦してみてください！



トラムとバスを乗り継いで行った18世紀からある郊外の水車小屋。現在もイベントなどに利用されているらしい

支部だより

関東支部 [東京章光会]



令和6年7月6日(土)に東京章光会(愛媛大学法文学部同窓会関東支部)第57回定期総会を大手町サンケイプラザで開催しました。

熱中症も心配される猛暑の中、来賓として松本長彦同窓会会長殿、島田光照にきたつ会会長殿、難波宜久中国支部支部長殿、中島邦雄四国支部副支部長殿、同窓会学生アンバサダー2名をお招きして総勢27人の出席(合同懇親会のみ参加者もあり演奏者4名を含み総勢33人)となりました。

総会では大村万夢里事務局長補佐の司会のもと、阿部仁会長の開会の辞に始まり、松本長彦同窓会会長に祝辞をいただき、続いて令和5年度の活動報告、令和6年度活動方針案、令和5年度の会計報告案、令和6年度予算案の審議を行ない、提案どおり満場一致で承認されました。三宅一夫監査により会計監査報告も発表されました。

今回の大きな議題、清水栄治幹事長の新会長就任の承認もされ、若手の新役員も指名され新役員体制がスタートしました。また、法文学部平成29年卒の山本凌也さん(芸名:桂空治、落語家二ツ目昇進)も紹介され、温かく迎えました。



清水新会長

定期総会終了後、4階のホールに移動して、校友会首都圏支部、ユウカリ会(農学部同窓会)東京支部、工業会(工学部同窓会)東京支部、理学同窓会東京支部との合同懇親会を開催し、110名を超える参加で盛大な会となりました。

合同懇親会では法文学部昭和61年卒業の佐藤欣三さんと葛飾フィルハーモニー管弦楽団の仲間による演奏も行われました。今回はパーカッションも加わり、「川の流れのように」や「糸」などの演奏を楽しみました。

今後は若手の総会参加者の拡大や名簿の整理等組織の強化に新役員を中心に取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



合同懇親会

東京章光会連絡先

会 長 清水 栄治 (法1981)
携帯 090-5208-7864
E-mail: astra.2000-1213@yahoo.ne.jp
事務局 大村万夢里 (総政2008)
携帯 090-9895-0525
E-Mail: banri0924@gmail.com

関西支部 [にきたつ会]



関西支部【にきたつ会】は、コロナ禍で活動を中断していましたが、昨年、活動を再開、令和5年11月12日(日)に4年ぶりにブリーゼ・プラザ(大阪市)で総会・懇親会を開催しました。

総会は、島田会長の挨拶に続き、活動計画や予算案などの議案を審議、提案通り承認されました。

総会後の懇親会には井口法文学部長、松本同窓会長を始めとする本部役員、各支部代表、学生アンバサダーの皆さんにご出席いただき、和やかでアットホームに交流を深めました。また、愛媛県大阪事務所の山内次長より、プロモーションビデオを使って、観光キャンペーン「疲れたら愛媛。おかえりに会おう旅。」をご紹介いただきました。



令和6年度総会・懇親会のご案内

日 時: 11月24日(日) 12:00~

場 所: 大阪ガーデンパレス

会 費: 5,000円

関西在住の方はもちろん、関西に所縁のある方のご参加をお待ちしています。詳細は本同窓会報同封の「にきたつ会総会・懇親会のご案内」をご覧ください。

○奈良・飛鳥路ウォーキング 令和6年6月2日(日)



新緑の飛鳥路を14名で巡りました。にきたつ会員の永尾さんのガイドで、万葉の世界・石造り遺跡を学びました。写真は石舞台古墳で説明を受ける参加者

○関西支部会報「にきたつ通信」

関西支部の活動を紹介する支部会報を発行しています! 関西在住の皆さんには、本同窓会報に同封していますのでご覧ください。

関西支部【にきたつ会】連絡先

会 長 島田 光照 (法1979)
携帯 080-5366-3123
E-mail: mitsu-s@mx4.canvas.ne.jp
事務局 高橋 寛 (法1986)
携帯 090-3843-8254
E-Mail: hiro196308@ezweb.ne.jp

中国支部



広島支部では、2023(令和5)年11月18日(土)ホテル広島ガーデンパレスにて、第16回定時総会と校友会中国支部との合同懇親会を開催しました。

当日は、強風による天候不順でみなさまの足元が心配でありました。

それにもかかわらず、来賓には、井口法文学部長、本部より松本会長と鳥生事務局長、関東支部(東京章光会)より大村事務局長、関西支部(にきたつ会)より島田支部長、四国支部より玉井支部長、そして学生アンバサダーの方々3名のご参加を賜り、中国地方各方面から多くの会員の皆様にご参加いただきました。

総会後の懇親会では、テーブルを学部別ではなく、卒業年次の近い方としたことで、話題が合ったとか、新たな刺激があったとか、とても好評でありました。

参加いただきました皆様には、厚く御礼申し上げます。

今年の総会は、2024(令和6)年9月14日(土)13時から、ホテル広島ガーデンパレスにて開催します。講演会と懇親会については校友会中国支部と合同開催をいたします。

みなさま、お忙しいことと存じますが、是非ともご参加ください。

※参加受付は難波まで(2ページ参照)。

なお、広島支部は本年度から中国支部と名称を変更いたしました。

役員

顧問	竹本 義昌(昭和33年文理学部人文乙卒)
顧問	楠本 淳(昭和35年文理学部人文乙卒)
顧問	岡田 禎之(昭和40年文理学部人文乙卒)
顧問	村上 道機(昭和43年文理学部人文乙卒)
顧問	藤田 典子(昭和53年法文学部法学卒)
支部長	難波 宜久(昭和62年法文学部法学卒)
副支部長	松本 亜紀(平成5年法文学部法学卒)
事務局長	宮浦 明久(昭和62年法文学部経済卒)
事務局幹事	梶原 勝(昭和63年法文学部経済卒)
事務局幹事	沖田 正博(平成8年法文学部経済卒)
幹事	品川 瑞(平成5年法文学部法学卒)
幹事	宮本 貴史(平成15年法文学部総合政策卒)
幹事	大西 慎也(平成18年法文学部総合政策卒)

連絡先

難波携帯: 090-7777-6671

E-mail: namba87039@yahoo.co.jp

四国支部



第16回 総会報告

令和5年10月21日(土)13:00から道後山の手ホテル松山(松山市道後鷺谷町)にて、支部総会を開催しました。昨年交代した玉井周平支部長の挨拶のあと議案が承認され、懇親会を行いました。法文学部から井口秀作学部長、本部から松本長彦会長、東京章光会から阿部仁会長、関西にきたつ会から島田光照会長、広島支部から岡田禎之支部長に出席していただき、総勢49名が親睦を深めました。懇親会では恒例のじゃんけん大会も催され、大いに盛り上がりました。



児島幹事は親子で参加

四国支部理事会(お花見)

令和6年4月6日(土)中華料理の白魂にて16名が参加して理事会を開催しました。また理事会に先立ち、松山城を散策しました。昨年同様、松山春まつり(お城まつり)開催日と重なり、本丸広場では野球拳全国大会が盛大に行われていました。



桜が満開でした

第17回四国支部総会のご案内

日時: 令和6年11月10日(日) 13:00~

場所: ホテルマイステイズ松山

(松山市大手町1丁目10-10、旧JALシティ)

会費: 5,000円(懇親会費)

※本部総会も開催されます。

※同封のハガキにてお申し込み・案内請求してください。

四国支部事務局連絡先

支部長: 玉井周平 携帯: 090-8973-7650

E-mail: tousui78@yahoo.co.jp

事務局: 鳥生勉歳 携帯: 090-4506-1684

E-mail: toriu71@gmail.com

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

2023年度 第2回(通算第90回) 理事会

日 時：2023年10月6日(金) 18:00～21:00

場 所：助格三番町店（松山市三番町2-5-4）

【報告事項】

1. 第27号会報発行
2. 2023年度同窓会提供講座「社会と人間」
3. 支部活動・支部長会など報告と予定
4. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
5. 俳句募集の報告
6. にきたつ会立て直し経過報告&支部総会のお願い
7. 学生アンバサダー活動報告

【審議事項】

なし

2023年度 第3回(通算第91回) 理事会

日 時：2024年2月8日(金) 18:00～21:00

場 所：愛媛大学校友会館1F Maple

【報告事項】

1. 2023年度同窓会提供講座「社会と人間」終了
2. 学生アンバサダー募集
3. 2024年度会報編集委員会
4. 支部活動・支部長会など報告と予定
5. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
6. 寄付報告
7. 2023年度決算（暫定・見込み）
8. その他
 - 1) 寄付の振込手数料について
 - 2) 法文学部同窓会名称変更について、必要ないことを確認しました。

【審議事項】

1. 2024年度の活動計画 →承認
 - 1) 支部総会や提供講座など、コロナ禍で活動が制限されていた行事がほぼコロナ前の状態に戻りました。2024年度は同窓会報の発行・提供講座・名簿管理・学生支援・監査などの基幹となる活動に加え、支部支援・学生アンバサダーの活動に力を入れていきます。
 - 2) 3年に1回の本部総会に向けて役員の改選・事務局体制の見直しなどを進め、スムーズに新体制に移行できるよう努めます。
 - 3) 同窓会報は、同窓会員への大学・学部・同窓会活動の紹介や会員相互の情報交換の場として体裁などを見直し、9月発行を目指します。
 - 4) 同窓会提供講座「社会と人間」をさらに充実させるため、講師選定や運営を進めます。
 - 5) LINEの公式アカウントを充実させ、新卒生をはじめ若い世代を引きつけ、同窓会活動に参加してもらうための取り組みを進めます。
 - 6) 会員からの寄付を活用して、同窓会活動をより活性化し、法文学部学生支援事業を充実させます。
 - 7) 同窓会名簿の精度を高め、支部活動に有効活用します。
 - 8) 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。
2. 2024年度予算案 →最終案は6月理事会
3. 第17回総会 →承認
4. 役員改選 →11月総会で確定

2024年度 第1回(通算第92回) 理事会

日 時：2024年6月14日(金) 18:00～21:00

場 所：愛媛大学校友会館2F 会議室

【報告事項】

1. 2024年度同窓会提供講座「社会と人間」
2. 第17回総会
3. 支部活動・支部長会など報告と予定
4. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
5. 同窓会員 会員数報告
6. 事務局体制の見直し

【審議事項】

1. 2025年度提供講座「社会と人間」開講 →承認
井口法文学部長から同窓会へ要請をいただいたうえで、開講に協力することを確認しました。
2. 「えみか夢基金」（愛大基金）への寄付 →承認
愛媛大学基金室から同窓会へ要請をいただいたうえで、「100万円を上限として三役で決定する」とさせていただきました。
3. 2024年度会報発行 →承認
概 要：A4版 32ページ
発 行 日：2024年9月上旬
発行冊数：18,000
郵送冊数：16,500程度
発 注 先：アマノ印刷(有)
これまでの実績等を勘案し、引き続き同社に発注することとしました。
編集委員：委員会名簿のとおり
4. 2023年度決算・監査報告 →承認
 - 1) 一般会計では、会費収入は予算を8万円下回り、776万円でした。寄付金の繰り入れが160万円で、利子と合わせ、収入合計は936万925円です。支出に関しては、予算を約40万円下回り、997万8277円でした。
 - 2) 寄付金については、収入が145万3千円、支出は約238万1千円となりました。ふるさと応援は4支部合計で22万5500円でした。
5月9日(木)に監査を行いました。
5. 寄付金の受入方法の見直しについて →否決
現在は振込方法が郵便局の振替用紙のみとなっていますが、受入口座に伊予銀行と愛媛銀行を追加するとともに、同窓会ホームページから寄付が出来る仕組みの導入を提案しましたが、コスト面を考慮して否決となりました。
6. 2024年度予算案（再提案） →承認
 - 1) 一般会計の収入は、寄付金からの繰入金100万円を含め876万円程度が見込まれます。支出については、かなり削減を図りました。具体的には、タクシーチケットを廃止し、支部総会への派遣を各1名に、三役会議経費と提供講座の遠方講師交通費を押さえるように組みました。
 - 2) 寄付金については、収入は145万円を見込んでいます。支出については、全体では約189万円で組んでいます。
7. その他
役員改選について意見交換をしました。→11月総会で確定

愛媛大学学歌

QRコードを読んで 学歌を聴こう!!

QRコードを読んで
同窓会のHPからボタンを押すと、
愛媛大学の学歌が流れます。



- 作詞…井手淳二郎
作曲…下総 皖一
1. 伊予の高嶺^{たかね}の 尾根にそひ
立てる群山^{むらやま}に 花咲きつぎ
雲とぎすとも 雲分けて
求めむ高き 遠きもの其^そを
 2. 瀬戸の内海^{うつみ}の 磯つなぎ
ならば砂浜に 鳥飛びかひ
波あらぶとも 波越えて
究めむ深き 博^そきこと其^そを
 3. 二名^{ふたな}愛媛の 名をしたひ
つどふ友たちよ 空晴れたり
いざあらた代の 図^ふ負ひて
明るき道を ただに進まむ

愛媛大学校友会をご存じですか？

愛媛大学校友会はすべての学部・の垣根を越えて組織された団体で、同窓生をはじめ、学生及びその保護者、現職及び退職の教職員を会員として、2004年に設立されました。

校友会は、①学生サークルへの援助 ②就職活動の支援 ③留学渡航費の支援 ④学生図書への寄贈 ⑤入学生・卒業生への記念品贈呈 ⑥子規俳句カレンダーの作成 など、主に学生支援事業を行っています。

また、同窓生が主体となって組織された首都圏支部・近畿支部・中国支部では、講演会や懇親会を開催するなど、会員相互の交流を盛んに行っています。

同窓生の皆さんは既に校友会員ですので、会費等の負担はありませんが、会員情報のご登録がないと大学の近況や校友会報の送付、校友会イベントのご案内が出来ません。是非、QRコードからご登録いただき、校友会活動を知って触れていただければ幸いです。

〈愛媛大学校友会事務局〉 <https://koyu.ehime-u.jp/>
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2F
TEL:089-927-8610 E-mail:office@koyu.ehime-u.jp



第17回本部総会のご案内

今年は三年に一度の本部総会です。法文学部卒業生同士の交流を深めに来ませんか？
懐かしい先輩・後輩・同期がみなさんの参加を心待ちにしています！

日時：2024年11月10日(日)
13:00～本部・四国支部総会
15:00～懇親会
場所：ホテルマイステイズ松山
(松山市大手町1丁目10-10)
会費：5,000円



※参加を希望される方は、会報に同封のアンケートハガキにチェックを入れて10月18日(金)までにご投函ください。
※同窓会HPからもお申込みできます。 <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/>

俳句コーナー第3回投句

選句結果発表 & 講評

俳句集団いつき組の家藤正人です。

第3回のテーマ詠は「サークル活動」です。時代によっては部活動といったほうがしっくりくる方もいらっしゃるでしょうか。学業以上にのめり込んだ人もいるとかいないとか。

さっそく入選句をご紹介します。

入選六句

夏草や隠れ家めきし文化部室

あきなえ

伸びるに任せて夏草に埋もれそうな部室棟が目には浮かんできます。これぞモラトリウムですなあ。手入れされた快適さとは別種の、隠れ家めいてるからこそこの愛着。松尾芭蕉の有名な句に「夏草や兵どもが夢の跡」がありますが、ひょっとしたら青春を過ごした部室はもう残ってないのかもしれないなあ、と過去の助動詞「し」に少ししんみりもするのです。

オーナーと小鳥たくさんあいさつし

安田 浩子

俳句で小鳥といえば、立派な秋の季語。秋に日本へと飛来する小さな種類の渡り鳥を指します。外敵から身を守るため、見つかりにくい山の木々を渡っていく小鳥たち。顔見知りのようにあいさつする「オーナー」はいったい何者か。登山部の定宿にする山小屋の管理人さんかな。「あいさつし」のゆるっとした終わり方もこの句にとってはメリット。

部室前鞭声肅肅息白し

西川 恵三

普段あまり耳にしない単語がひとつ入っていると、どんなサークル活動だったのか読み解く大きなヒントになります。「鞭声」は馬に鞭打つ音のこと。吐く息が白く氷る冬も、馬術部は鞭の音高く励んでいるのでしょう。人の吐く小さな白息と、馬の吐く巨大な白息の塊とが見えてきます。肅々と己らの技量を磨くストイックな活動風景。

きっかけはほんの偶然春の友

ひめか

なにげない出会いのきっかけを思い出したら、それがそのまま一句に仕上がりました。入学して間もない頃は知り合いも少なく、不安な時期。そんな時、ほんの偶然から仲良くなった友の存在のなんとありがたいことか。「春」はほっとする作者の心を率直に伝えてくれる取り合わせであります。

秋の夜五秒で決めるペンネーム

桜 桃

俳人として大いに共感（笑）。俳句をする時専用の名前を俳号といいます。俳号を考える時もよくあるんです。「え〜、ペンネームって言われてもそんなのないよ……いいや、適当に決めちゃお」、と。たった五秒で決めたペンネームでも次第に愛着が湧くものです。作品を考える「秋の夜」は静かに自分の新しい名と馴染んでいく時間でもあります。

渾身のサーブを包む大西日

美 々

サーブといわれて思い浮かぶのはバレー部かテニス部。季語「大西日」を考えると、テニス部の読みが濃厚でしょうか。インパクトの瞬間にむけて視線はじっとボールを捉えています。渾身の力で振り抜かれるラケット。凄い速度で打ち出されるボールと小気味良い音。大西日を背負ったシルエットが美しく動作します。

優秀三句

棒読みの犯人月光が刺さる

西 行

演劇部の練習風景。いや、恐ろしい読みをするならば本番の舞台の可能性だってあるかもしれません。「棒読みの犯人」は劇中の犯人役とも、棒読みをやらしてしまった人物とも読めます。野外劇であれば口けションも抜群。よりによってスポットライトのように月光が差しています。「刺さる」は月光の描写でもあり、

痛切な心理でもあり。本人の消し去りたい失敗の過去ではないことを祈るばかりであります…。

ガリ刷りの詩集は売れず春の星

街角詩人

今では同人誌も手軽に印刷できる時代になりましたが、かつては刷る工程も自らの手で行っていたのです。原紙に鉄筆で文字を書くガリガリという音、その一音ごとに詩人としての執念が込められているかのようです。苦勞の末に刷り上がった作品を並べるも、売れずに終わる一日。はや空には星が瞬いています。荷物を片付けて帰る帰路、春の夜は慰めるように温く、春の星はやわらかく滲んで。

初桜部費も部室も手に入れて

山田 将大

我が世の春だぜ！と言わんばかりの十七音を思わず愛してしまいました。彼らにとって、自分たちの部は最初から当たり前に存在していたわけではないんじゃないかなあ。やりたい活動があって、自ら部を興そうと働きかけてきた。部員を集め、顧問を見つけ、申請をし。ようやく念願の部を設立し、ついに部費も部室も手に入れた。「初桜」は祝福のように淡い花をつけ、彼らの前途を照らします。「初」の一字が気持ち良く効いた佳句。

特選一句

夜学の灯宵めつ洗ふ馬の足

川本 太圓

馬術部にとって、馬の世話は生活の一部。自分たちを乗せて走ってくれた馬たちを労い、足を洗うのです。もちろん相手は生き物ですから身じろぎもします。ブルルツといもなく馬を宥めながら丁寧に清めてやる手

つきは優しい。厩舎から少し離れて、校舎には夜学の灯が灯っています。夜も勉学に励む者、部活動に勤しむ者とがともに同じキャンパスに存在した確かな手触りがあります。校舎と厩舎との間には秋の夜気がしんと深まっていきます。

第4回投句募集

テーマ詠：「卒業論文」。季語は自由。卒業論文に関する思い出などを詠んでください。

応募句数：1人5句まで

応募方法：

ハガキ 〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学法文学部内
愛媛大学法文学部同窓会

E-mail support@ehime-u-houbun-dousoukai.com

H P https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/

締切：2024年11月29日(金)必着

発表：第29号同窓会報にて

※HP上では3月末に発表予定

選者：家藤正人先生

※優秀作品には賞品を差し上げます。奮ってご応募ください！

(選者紹介)

家藤正人 (いえふじ・まさと)氏

1986年1月20日生まれ。愛媛県出身。

愛媛大学卒業後、本格的に俳句に携わる。夏井いつきの句会ライブにてアシスタント経験をつむ。自身も講師として、愛媛新聞カルチャー「働く人と学生のための俳句」などのクラスを持つ。老人養護施設や児童館などへの出張俳句教室を行う他、学生を対象とした単独句会ライブも行っている。2016年より南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」にてアシスタント、2019年より南海放送ラジオ「家藤正人『一句一遊』虎の巻」ではパーソナリティを務める。2023年4月よりNHK俳句出演。

そのほか、松山市公式俳句投稿サイト「俳句ポスト365」初心者欄選者。香川県宇多津町「平成相聞歌」企画参加および選者。国際交流基金インドニューデリー日本文化センター「南アジアオンライン俳句コンテスト」選者。

法文学部教員人事異動

(2023.4.2～2024.4.1)

講座名	氏名	職名	異動年月日
▶社会科学講座	松本圭史	准教授(転出)	2023.10.1(昇任)→2024.3.31(転出)
	石坂晋哉	教授(昇任)	2023.10.1
	三上 了	教授(昇任)	2023.10.1
▶人文学講座	中原 ゆかり	教授(定年退職)	2024.3.31
	朝井 志 歩	教授(昇任)	2023.10.1
	松木 裕 美	講師(採用)	2023.10.1
	田村 紋 女	講師(採用)	2024.4.1
	林 孝 洋	講師(採用)	2024.4.1

インド体験あれこれ

村上 和恵 1989年法文学部文学学科卒業
1996年法学研究科修士課程修了

1997年末に初めてインドを訪れて以来時々日本とインドの間を行き来しています。当初は何かにつけ不思議に思うことや戸惑うことも多かったのですがそのうち慣れてきました。「郷に入れば郷に従え」とはよく言ったものです。気候も風土も地形も歴史も全く違う国ですので、違って当然です。何度も訪れるうちに私が不思議に思うことや不便だと思うこともそれなりに理由や意味があるということが分かるようになってきました。今回そのインドでの私の経験をご紹介します機会を得ましたので、書き溜めた中からいくつか抜粋してみました。ご一読いただければ幸いです。



インドでの出会い

もうかれこれ20年以上も前になるだろうか。テニス仲間やその娘たちとインドへ行ったことがある。メンバーは、我が夫、テニス仲間のご夫婦、そして別のテニス仲間の娘さんとその友達、計6名。当時は便利なスマホもWi-Fiもなくて、「インターネットカフェ」や「国際電話」の看板を見つけるのが大変だった。

さて、デリーからお決まりのアグラ、ジャイプルを回ったあとデリーに戻り一休み。今度は北のヒルステーションのムスリーをデーラドゥン経由で目指した。丁度デーラドゥンでの昼食の際に1人見知らぬ女性が同席した。観光会社の担当者の従兄弟の奥さんだという。そう言えばバスに乗るときに歓迎の言葉が日本語で書かれて

おり、不思議に感じたのを思い出した。

彼女の名前はルチさん。JNU（ジャワハール ネルー大学）で日本の政治、経済、日本語等を学んだという。入学時は15名いた学生も卒業時には8名しか残らなかった、というからかなり優秀だ。丁度出産前に里帰りしていたとのこと。その時はメールアドレスだけ書き留めて別れた。もちろん、帰国してからお礼のメールは送ったが返事はなかった。

それから1年くらい経っただろうか、突然彼女からメールを受け取った。無事に女の子を出産しデリーに戻って働いているが、毎日忙しくて連絡を取ることができなかったとのことだ。それ以来彼女とは良い友達だ。彼女が来日する時には必ず会いに行くし、デリーでの滞在中に彼女の家へ呼んでもらったりもする。前回の滞在ではご両親と弟さんの家族、そして妹さんとも会うことができた。

もう一人、決して忘れてはならない人がある。初めてのインドでの夜、一人の女子学生と私に心地よいベッドを提供してくれたA夫妻だ。私がこうやって何度か



わたし自身の誕生日、デリーにて。18人もの人たちが祝ってくれた。

インドを訪れることができるのは彼らの厚意のおかげだ。ホテルと違って一般家庭に滞在すると彼らの習慣や考え方が少しずつ分かってくる。その繰り返しで今日に至っている。

ところで、15年ほど前になるだろうか。一人のインド人留学生が愛媛大学にやって来た。偶然にもこのカジュという学生はA一家をよく知っているらしい。半信半疑でインドへ電話をかけると運良く向こうからAの声が聞こえてきた。2人は笑いながら5分くらい話していただろうか。これにはびっくりした。まるで映画の一場面ではないか！ 後年この学生の家を訪れた際にAやほかの友人たちの家がすぐそこにあるのにはまた驚かされた！ 今ではこれらの家の前を通過して、ぐるりと散歩するのが毎朝の日課になっている。

そう、このAとの長い付き合いもお世話になったお礼の一枚のハガキから始まった。これまでに何度か大学生たちとインドで出会ったことがあるのだが、彼らが帰国してからお世話になった人たちにお礼の手紙やハガキを出さないのには驚いた。Aは学生たちがインドに滞在している間、親戚や知人に依頼して学生たちの宿泊や行路の安全確保、観光に至るまで手を回してくれていた。「にもかかわらず」だ。しかし最近では、学生たちはもしかしたら相手が外国人だし年長者なので感謝の気持ちはあるのだが、なかなかお礼状を出すところまでは踏ん切りがつかなかったのかな？ などと思うようになった。

つまるところは、だから「学生」なのだろう。それにしても25年経てみると、彼らは実に惜しいことをした、と私は思うのだが、それはそれとして、学生たちには他に得るものはたくさんあったようだし、Aたちインド人にとっても学生たちがインドで新たな経験をしてくれたことで十分だったようだ。

ジェレビー訪ねて7,000歩

午前の散歩の際にもう少し遠出をしてみることにした。実は15年前に一度とあるスイーツショップを訪れたことがある。その時は車に乗っていたため昔から有名なスイーツショップということしか分からなかった。その時の記憶を頼りに歩いてみることにした。スマホは使わなかった。

まずは店舗名。これはすぐに分かった。サイニックスイーツショップというらしい。私の滞在先は比較的道幅も広く、道路が規則的に配置されているため分かりやすい。そこからおおよその方角を確認してから出発した。しかし、いくつかの道は途中で廃墟とか鬱蒼とした部分が広がっているため、そこは避けるようにした。やがて四つ角に出た。多分真っ直ぐだと思うが誰かに尋ねてみることにした。

あたりを見渡すと人はパラパラといる。どうしたものかと迷っていると、後ろから30代と思しき女性が歩いてくる。この際年齢よりも服装だ。肩からバッグを下げており明らかに先ほどの人たちとは異なる。そこで

声をかけたところヒンディー語でいいかと断ったあと「真っすぐ行ってその次を右」と教えてくれた。さすがインドだけあって説明が大雑把だ。

しかし道が決まればしめたもの。ひたすら真っすぐ歩いた。そして、小さな店が並ぶエリアに出た。素直に右へ曲がる。しかし、行けども行けどそのサイニックはない。丁度車から降りようとする男性がいたので尋ねたところ「この向こうに赤い車が止まっているだろう？ そのあたりだ」と教えてくれた。

はたしてサイニックは通りの一番端にあった。有名というだけあって人の出入りがひっきりなしだ。表ではジェレビーという甘い伝統菓子を作っている。水で溶いた天ぷら粉を想像して欲しい。それを袋に詰めて先の方から小さな円を描くように油の中に絞り出すのだ。それを砂糖のシロップに漬けてから取り出すと出来上がり。この作業はいつ見ても芸術的だ。時間も忘れて見とれてしまう。



サイニックスイーツショップ。店内は人でいっぱいだった。

15年前と大きく変わっていたのは店舗がとてもきれいになっていたことだ。せっかくなのでその有名なジェレビーを1kg買って帰ることにした。気になるお値段は、1kg200ルピー、わずか350円ほど。しかもインド人の



ジェレビー。白いものはダヒーと呼ばれるヨーグルト。カリッとしてとても甘くておいしい。絞り出して揚げるのは簡単そうに見えるがやってみると、これがなかなか！

大好きなお菓子だ。

というわけでこの日はサイニックへの往復が7,000歩余り、トータル12,000歩で夜を迎えた。もちろんその日の夕食の話題が私のこのちょっとしたスイートな冒険だったことは皆さんの想像に難くないだろうと思う。

動き始めた列車飛び降り危機一髪事件

インドでは旅行する時は荷物を指定された場所に出しておく、ドライバーさんやその家のスタッフ達が車に積み込んでくれる。部屋まで取りに来てもらってもいいのだが、居室はあちこちに散らばっているし荷物の数も多いので家人は気をきかせて先に出しておく。そして駅なり、空港なり、現地なりへと運んでもらうのだ。その際のびっくりしたお話。

夜行寝台列車午後9時過ぎの便に乗り目的地に向かった。荷物を入口のステアケースに置いておけ、と言われてまずスーツケースと手に下げられる大きめのバッグ、そして部屋に戻り肩から掛けるバッグを運び指定場所に置いた。その後早く夕食を取れ、と急かされたので中にはいって済ませたあと車に乗り込んだ。駅に着いて列車の車両番号とベッドの番号がまちがいないことを確認してから指定ベッドに腰掛けると、後から荷物が運ばれてきた。しかし最後に出したはずの肩から掛けるバッグが見当たらないのだ。運んでくれたスタッフは数はたしかに合っているという。しかし私のバッグはない！

事の次第はこうだ。若干の時間差があったため荷物を運ぶ人たちが後から出した肩掛けバッグに気づかなかった。また運悪く駅へ向かう車に乗り込むときに、私自身もバッグを出した階段を使えなかった。そのため誰も肩掛けバッグを見ることなく車は出発してしまった、というわけだ。この家は大きいので建物正面のドアが3箇所1つずつ計6つある。明るいうちには各箇所1つずつ計3つ開いているが薄暗くなると1箇所だけ残して他は閉めてしまう。私がバッグを出した階段は一番端だったため忘れ去られたというわけだ。

車内で気が付いてからことを起こすまでが実に早かった。同行者は、家に残ったスタッフ達に次々と電話でバッグがあるかどうか確認する。あると分かったらドライバーにバイクで持ってくるよう伝える。そして、心配する私には、同行者の弟が近くに来ることになっているため運んでもらうよう頼むから心配ないと言ってくれた。

しかし、運なく列車はゴトンとひと揺れしだしたかと思うと徐々に動き出した。車列がかなり長いので最初は蟻が這うようにゆっくりゆっくりと、しかし確実にスピードは上がってきた。

と、突然通路にそのバッグを手に持ったスタッフの顔が見え、ニコッと笑ったかと思うと一番手前の同行者に手渡し姿が見えなくなった。彼はホームに飛び降りたのだ。直ぐに電話で無事であることを確認し、全員が胸をなでおろした。指定ベッドが出入り口に一番近かったことも通路には誰もいなかったことも幸いした。しかも乗降口には列車のスタッフが1人いて事の次第を見守っていた。

risk of lifeを考えずに行動するインド人はまだいるのよ、と同行者の一人がホッとした様子で微笑んだのがとても印象的だった。



カラフルな車両。25年前にはこんなに可愛いものを見かけることはなかった。

人のことは笑えない話

日本人と一緒にインドを訪れた際に驚いた話。しかしこれはインドに限らず海外ではどこでも起こりうるため私自身も明日は我が身！と常に言い聞かせるようにしている。



デリーに着いて2日くらいたってから一人の女子学生の様子がおかしいのに気づいた。あきらかに不安定だ。聞くと毎日内服している薬を敢えて持参しなかったという。インドどころか日本であっても受診しない限りその薬は手に入らない。真面目な人に限って「インドへ行くのだから薬に頼ってはだめだ！」などと極端な行動に出てしまう。インドに限らず海外へは普段使い慣れているもの、必需品を「必ず」持って行こう。

社会人を伴ったときの話。必要なものは常備薬も含めて持参してもらった。はじめにインドの観光を終えてネパールへ向かった。ところがカトマンズへ着いた途端一人が体調不良になった。さあ、持参薬の出番だ。ところが薬は全てデリーに置いてきたという。インドで何も起こらなかったからといってネパールでも起こらないとは限らない。

元留学生の結婚式に出席するために友人4人が先にデリーに向かった。インドの結婚式はたくさんの行事を伴う。彼の家はとても大きかったので最終日のレセプション以外は彼の自宅で行った。当然家人や親戚、その家のスタッフたちで家の中はごった返している。元留学生からは、お土産は僕がいいと言うまで誰にも渡さないように、後で誰が誰か紹介するから、と固く念をおされていた。ところが一人の女性が信じられない行動に出た。彼女はこともあろうにその助言を無視して山のようなチョコレートのを2人か3人のスタッフの子供にあげてしまったのだ。留学生一家や親戚へのお土産が一瞬にして消えてしまった！旅先ではその人の性格やそれまでの人生の一部が見え隠れする。



これも経験、あれも経験。思い出すことは多いが今回はこのくらいにして以下の写真もお楽しみいただければと思う。



素焼きのコップに入ったチャイ。素焼きは土に戻るので環境に優しい。手に描いているのはヘナ。結婚式の一連の行事「メヘンディ(ヘナのこと)」では女性たちがスマホの写真を見せながら、われ先にと描いてもらう。



結婚式最後の夜、レセプション会場で新郎新婦と新婦側の家族。親戚や友人たちなどがかわるがわる記念写真を撮る。この可愛い花嫁さんの衣装選びには私も含めて6人が何度もオールドデリーに出向いて決めた。



別の結婚式では象や馬が登場した。一連の行事の後、新郎は象に先導されて車でレセプション会場へ移動する。



3月末のカシミール。グルマルグスキー場、標高2,650mで。デリーでは連日30℃を越える暑さが続いていた。インドは暑いというイメージがあるが北インドでは冬は寒い。特にカシミールは北部に位置し、標高も高いため避暑に、スキーに、と訪れる人が多い。

退職された教員



中原ゆかり先生

- ① 1996年(平成8年)4月
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 文化人類学、音楽人類学

出生地 長野県

最終学歴 総合研究大学院大学文化科学研究科
(博士課程)

学位・称号 文学博士

所属学会 日本文化人類学会、日本ポピュラー音楽
学会、日本移民学会等々

学生時代、東京の竹芝桟橋から沖縄ゆきのフェリーに乗り、翌朝窓から見たのが瀬戸内海。穏やかに船に揺られながら、海の中に小高い山のような島々があるという景色に驚いたことを覚えています。その瀬戸内海をのぞむ四国を初めて訪れたのが、愛媛大学への就職でした。

思えば四国に来てから、多くの出会いがあり、様々な経験をさせていただきました。内外の仕事について

- ① 愛媛大学にいられた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について

は、周囲の方々に支えていただけて続けることができ、とても感謝しています。四国、瀬戸内海の島々には、口説き系の物語歌や位牌を背負っての盆踊り、地芝居、神輿やだんじり等、実に様々な芸能・祭りがあり、毎年の楽しみでした。九州へもフェリーで気軽に行くことができ、夜神楽や人形芝居等を見物することができました。そして最も印象に残ったのは、大学で会った学生さんたちのこと、フィールドで出会った方たちのことです。

同窓生の皆さんからすると、大学生活はご自身のほんの一面に過ぎないかもしれません。しかし年々歳をとってきた私からみると、学生さんたちの若い感受性に日々触れて新鮮な気持ちになれたことは、ひとつの財産でした。きっと今頃は立派な社会人になっていることでしょう。また文化人類学という学問の性質上、暇をみては奄美やハワイ等々へ、フィールドワークに出かけていました。そのフィールドとの付き合いも、いつのまにか30年、40年と続き、家族のような感触をもっています。やはり人との出会いは宝ですね。

愛媛大学での28年間、今となればまるで夢の中の出来事であったかのように感じています。同窓生の皆さん、これからどうかお元気で。またいつかどこかで会いましょう。

2019年卒業 細谷 佳菜 [総合政策学科]

私の感じた愛媛大学の魅力

■あなたはどちら？

突然ですが、みなさんに質問です。

「愛媛大学への入学は、希望どおり？不本意？」

もちろん、この質問に正解はありません。一人ひとりの気持ちは自由です。ただ、せっかく今回、貴重な寄稿の機会をいただいたので、「私の感じた愛媛大学の魅力」について伝えさせてください。

ちなみに、上記の質問に対する私の回答は「まあ希望どおり」です。高校時代、特に将来の夢もなく、「公立の大学に入ればOK～」という軽い気持ちで大学入試を受けていたからです。

■「どうせ愛大だし」という言葉にショックを受ける

そんなお気楽な私は、2015年に愛媛大学に入学しました。1回生初めてのオリエンテーション。初対面の大勢のなかでどう立ち回ればいいのか、緊張したのを覚えています。同時に、同回生と喋って衝撃を受けました。「もっと偏差値の高い大学へ行きたかった」「どうせ愛大だし…。後ろ向きな意見の多いこと多いこと！

これは10年以上前の感覚なので、いまの在学生とは空気感が違うと思います。ただ、当時の私には大変ショックでした。「悔しい気持ちも分かるけど…」と感じる一方、「せっかく入学したのだから、私は愛大で出来ることを満喫しよう」と考えました。

■魅力① おもしろい先生と出会える

とはいえ、「充実した大学生活」というのが、当時の私にはさっぱり見当もつきませんでした。講義以外の時間をどう過ごせばいいか迷い、1人暮らしの部屋でぶらーんとした、空白の時間に焦りが生まれました。

そこで、1回生の私は精いっぱい勇気を振り絞って、受講していた先生に声をかけてみることにしたのです。

「先生の講義、おもしろかったです。もっと詳しく教えてください！」

こんな風に言葉をかけたのか忘れてしまいましたが、「もっと知りたい」という熱意を伝えました。これをきっかけに、たくさんの先生たちと仲良くなることができました。いまも在籍されている鈴木静先生や、(今は亡き)丹下春樹先生などは、本来のゼミ生でもないのに、自主的な勉強会(＝自主ゼミ)を開いてくださることもありました。

■魅力② “人と異なって良い”という発想

決して、私は勉強が好きなタイプではありません。ですが、大学での学びはとっても楽しかったです。なぜかというところ、人と異なって良い”という雰囲気があったからだと思います。

高校時代は、テストの答えは○×で評価され、「違う＝不正解」だと思っていました。一方、大学では、人と異なる意見でも、まずは「あなたの意見もわかる」と

認めてくれるのです。常識的に当たり前とされていることに疑問を呈しても、頭から否定されることはなく、逆に、先生からは「変わった視点でいいね」とおもしろがられるのです。

こうした“人と異なって良い”という発想は、私にとって衝撃でした。大学生になって初めて「学ぶことがおもしろい」と思えるようになりました。自分の考え方を肯定してもらえるからこそ、他の異なる意見も聞きたいと思えるようになりました。

■魅力③ 愛大生の特権！フィールドワーク(校外学習)

先生たちからは「フィールドワークの大切さ」についても学ばせてもらいました。

大学時代に出会ったのは、ホームレスのおじちゃんたち、障害のある人、

障害のある子を育てる保護者、障害者自立支援施設のスタッフ、ハンセン病の元患者さん、保護観察官、更生保護施設のスタッフさんなどなど(書ききれない！)。

とはいえ、知らない大人と接するというのは、毎回緊張！ビクビクしながらアポイントをとり、「怖い～」と思いながら出掛けていきました。

ただ、ありがたいことに、「愛媛大学の学生」という肩書きのおかげで、愛媛県内外の皆さんにはとても親切に対応してもらえました。若気の至りで不躰な質問もあったかもしれませんが、それでも、丁寧にお話を伺うことができました。

直接、当事者に会って話を聞くことで、講義や書籍だけでは分からない、現場の空気感や多様な価値観、社会問題の本質について気づくことができました。

■私のキャリアは大学時代の土台があつてこそ

こうした大学生生活のおかげで、2019年、日本放送協会(NHK)に就職し、いまはEテレの教育番組を作るディレクターをしています。大学時代に学んだ『現場へ出向いて、当事者の声を聴き、さまざまな価値観について考える』という姿勢に変わりはありません。

卒業して15年。いま改めて、私は愛媛大学でとっても素敵な時間を過ごせたと感じています。大学の先生、大学職員の方、本当にありがとうございました。これからも、大学での経験を生かしてがんばります！



道後公園でお花見



NHK放送センター スタジオ収録現場

2014年卒業 原田 智裕

[総合政策学科]

置かれた場所で咲きなさい

今回、このような貴重な機会をいただきましたので、私が大切にしている言葉である「置かれた場所で咲きなさい」というテーマでメッセージをお届けしたいと思います。この言葉はシスター渡辺和子さんの著書のタイトルとして広く知られています。この言葉が持つ意味は、私たちがどんな環境にあっても、自分自身を最大限に活かし、努力し続けることの重要性を説いています。



私は大学を卒業後、伊予銀行に就職し、現在は「法人コンサルティング部」で仕事をしております。大学を卒業してから10年が経ち、社会でさまざまな経験を積んできました。しかし、新型コロナウイルスのパンデミックは、生活を一変させ、多くの困難をもたらしました。仕事のスタイルが急激に変わり、対面でのコミュニケーションが制限される中で、皆さんも多くの試練に直面したのではないのでしょうか。

私の職場でも、業務が大幅に変わり、リモートワークや感染対策に追われる日々が続きました。顧客との直接の対話が減り、同僚とも物理的に離れた環境での仕事は、予想以上に大変な経験でした。しかし、そんな中で「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を思い出し、「今の自分にできることは何だろうか？」と考えることが多くなりました。



私は、困難な状況だからこそ、目の前の仕事を丁寧に、誠実に取り組むことが大切だと考えました。困難な時期だからこそ、基礎を大切にし、確実な仕事をする中で、顧客との信頼関係を築いていくことが、今の自分に必要なことだと考え、日々努力を続けました。その結果、次第に自信を持つことができるようになり、困難な状況でも、前向きに取り組むことは非常に大切なことだと改めて感じました。今では「置かれた場所で咲く」ということは、単に今の環境に満足することではなく、そこから自分の可能性を最大限に引き出すために努力し続けることだと考えています。

社会人として働く中で、私たちはしばしば自身の希望や意図とは異なる環境に置かれることがあります。辞令による部署異動や転勤など、予期しない変化に直面

することも少なくありません。こうした変化は時に不安やストレスをもたらしますが、それこそが「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を大切にする理由です。



私自身もこれまでに何度か異動を経験しました。最初は戸惑いや不安がありましたが、新しい環境で自分の力を発揮しようと努力することで、次第にその環境に適応し、成長することができました。異なる環境での経験は視野を広げ、新たなスキルを身につける機会となりました。

私の経験を通じて感じたことは、「困難な状況こそが自分を成長させるチャンスである」ということです。どんな逆境にあっても、自分の可能性を信じ、努力を続けることで、いつか必ず花ひらくのではないのでしょうか。現在の仕事においても、顧客のニーズが多様化し、迅速な対応が求められる中で、日々新たな課題に直面します。しかし、それらの課題に対して前向きに取り組むことで、自分自身のスキルや知識が向上し、結果的に自分を成長させることができました。



私たちは常に変化の中に身を置いています。環境が変わることは避けられませんが、その変化に対応し、成長することで、自分自身をより良い方向に導くことができると信じています。どんな場所に置かれても、その場所で咲くための努力を続けることが重要だと感じています。

私たちはそれぞれ異なる場所で、それぞれの役割を果たしています。環境が厳しい時もあるかもしれませんが、その環境こそが私たちを成長させ、強くしてくれるのではないのでしょうか。私はこれからも、どんな状況にあっても、自分らしく咲くための努力を続けていきたいと思っています。

同窓生の皆さん一人ひとりが、それぞれの場所で咲き誇ることを心から願っています。どんな困難な状況にあっても、自分の力を信じ、努力を惜しまず、自分らしく生きていきましょう。



愛媛大学法文学部同窓会へ御寄付いただきました皆様の御芳名一覧

(令和6年3月末現在)

愛媛大学法文学部同窓会への寄付の御協力に心より御礼申し上げます。本時点までに御寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここに御芳名を掲載させていただきます。(50音順・敬称略)

なお、御芳名の掲載については、同意をいただいた方のみとなっております。

その他多数の皆様からの温かい御支援を頂戴し、深く感謝申し上げます。

【ア行】

明石 由美	赤瀬 晃也	赤星 勝	穂岡 謙治	秋山 久恵	荒井 泰雅	荒井 源雄	荒木 雅弘
安藤あさみ	井川ちづ子	壹岐 公洋	池川 孝文	池田 正幸	池邊 英貴	石住 勝憲	伊勢元忠伸
伊月 知子	井上 親	今村 威	上田 将輝	上野 善康	植松 良恵	宇都宮眞由美	梅本裕一朗
遠藤 佳春	大岩 義雄	大久保賢太郎	太田 重明	大西 直純	大西 信行	大野 充彦	大平 昇
大藪 崇	岡 靖子	岡崎久美子	小笠原 均	越智 翼			

【カ行】

賀上 延啓	鹿島 勝	梶本 六夫	片岡 正雄	加藤 直也	加藤 誠	加藤 昌	加藤 好文
門田 茂	金澤 功	鎌田 孝史	蒲池 正宏	上谷 景子	河上 幸市	川上 弘之	川原 学
河村 新吾	川本 清治	菅 勝	閑治谷裕子	菊地みのぶ	岸 武弘	刑部八州男	吉良 厚子
工藤 香織	國枝みつよ	久保チズエ	久保 泰敏	久保田 温	熊石 康生	蔵田 憲治	蔵本 修
黒河 安德	黒田 久治	黒田 彰三	小池 昭彦	高田 健作	河内 泉	小崎 弥生	小林 浩太
近藤 安彦							

【サ行】

佐伯 満照	酒井 雅奈	坂田 隆	阪本 達也	坂本 哲巳	坂元 陽介	佐々木珠希	佐谷 嘉美
佐藤 興治	佐藤 雅彦	佐野 章雲	塩崎 計吉	塩見 裕司	直原 通治	信宮 俊紀	瀧川 武彦
島田 光照	清水 秀一	庄野 礼子	白井 瞳	白石 崇	塩飽 義久	杉野 洋介	杉本 英智
杉本 真紀	鈴木 大輔	住田 啓子	清家 信孝	清家 泰雄	塩飽 良太		

【タ行】

高杉 晃吉	高田 敬士	高田 正義	高橋 寛	高山 善行	竹内 譲二	竹内 英美	竹田 美喜
武智 敏	竹本 道代	田坂 君子	橘 健司	橘 齊	立上 良典	立住登喜雄	田中喜美子
谷井 繁	谷岡 利弘	玉井 周平	玉木長一郎	丹 昭夫	塚本 憲正	月原 信夫	月原 靖之
津田 朋美	坪野賢一郎	露口 正夫	出来谷 勇	寺地 雄二	土居 繁	土居 慎一	徳永 悌一
戸田 健	豊澤 正則	鳥生 勉歳					

【ナ行】

永井 克典	中居 義輝	中島 邦雄	中田 一規	長谷 正夫	中西 龍太	中林 慎治	中村裕二郎
成清 寿一	西岡 秀記	西岡 倫弘	西田 和真	西村 一嘉	西山 明香	野田 勝美	野田 敏幸
乗松 眞二							

【ハ行】

長谷川逸雄	畠中 節男	濱田 宥子	濱松 一良	濱本眞由美	林 克彦	林田 貴光	張本 雅宣
樋口 政治	日野 恵一	姫路 大覚	兵頭 厚子	平田 篤資	平野 嘉成	弘内日出雄	深坂 穰
藤井 康雅	藤井 啓文	藤岡 達夫	藤田 育子	平良 稔	保科 昇	細川 陽平	堀田 深山
堀井眞由美	本郷 良一	本田 公子					

【マ行】

増田屋明子	松浦 道明	松浦 義和	松下 俊一	松田 妙子	松田 敏幸	松田 良光	松本 長彦
松本 康照	三阪千代子	光田 正	宮内 真理	宮川 晶子	宮首 賢治	宮下 清一	宮原 美咲
宮部 猛	村上 和恵	毛利 修三	森 健一	森 浩平	森岡 芳洋	森下 智子	

【ヤ行】

八木 啓美	薬師寺正義	安岡美和子	安永 博邦	八塚 洋	矢野 明美	矢野 一彦	矢野 和弘
矢野 和美	山内 重宣	山内 千代	山口 恭司	山口 信夫	山口美智瑠	山口 里奈	山崎 薫
山田 耕造	山根 勝美	山根 淳一	山根 主税	山根 桃恵	山本 一義	山本 貞康	山本 求
横川 修	吉富 進吾	吉本 政弘					

【ワ行】

若江美千子	脇 敏夫	和氣坂ハナミ	渡部 浩三	渡部 剛	渡邊 博重	渡部由起子	
-------	------	--------	-------	------	-------	-------	--

〔2023年度寄付総額〕	1,453,000円	寄付者総数304人(内、匿名希望58人、掲載可246人)
〔2022年度寄付総額〕	1,505,000円	寄付者総数320人(内、匿名希望53人、掲載可267人)

寄付金の払込時にお寄せいただいた「応援メッセージ」をご紹介します。

文末に記載しているのは、英文字のイニシャルと卒業年(西暦)の下2桁です。なお、73人の方々からメッセージをいただきましたが、誌面の都合上、一部のみのご紹介となることをお許しください。

- *お世話様になります。楽しく読ませて頂いております。MA62
- *大学時代に幅広い関心、問題意識を！ MH72
- *愛大 大好き ガンバレ！ SK84
- *アンバサダーのみなさん、いつもレポート楽しく拝見しています！ありがとうございます。HT86
- *やっとコロナが明けました。在校生には伸々と学生生活を送ってほしいです。KT78
- *今するべきこと、今したいこと、今しかできないこと、全部楽しんでください。YS88
- *今しかできない事に注力！ HM89
- *同窓会報を見て懐かしく思います。有意義な学生生活を送ってください。RY01
- *厳しい世の中となりましたが、健康第一で、今をそして将来を新しい社会となるよう、勉学に励んでください。TI85
- *記憶力は衰えたが、大学時代への懐かしさは今も変わらないよ。SY63
- *同窓会や校友会活動の活性化を期待しています。SO68
- *若かりし頃の仲間と集まって大街道周辺で飲みたいです。同窓会の盛会を祈ります。KM83
- *会報が届く度にノスタルジーに浸れます。若い人の活躍も慶ばしい限りです。SM84
- *後輩たちの頑張りで住みよい愛媛、住みよい社会、住みよい地球になりますように。MK87
- *自分を信じて、夢を実現！ 頑張ってください。TA82
- *学生の皆さん頑張ってください！ 愛媛の南予から応援してますよ〜!! MK83
- *トートバック使っています。YH69
- *“大事なものは、カルチベートされるということ…心を広く持つこと…愛することを知ること…ゆったりと、真にカルチベートされた人間になれ！”(太宰治“正義と微笑”)の一節を、愛大で学ぶ後輩の皆さまにお伝えします。愛大での学びは、

- 必ず人生を豊かに支えてくれます。MM03
- *これからも頑張ってください。YS89
- *新しい戦前といわれる昨今です。平和憲法を護り続けていただきたい。私もがんばっています。KS61
- *オンラインで寄付できるようお願いしたいです。YN14
- *いろいろあるけど笑顔で!! KH64
- *人生は一度きり。好きなこと、やってみたいことを見つけて、失敗を恐れずチャレンジしてください!! HN91
- *法学の存在が四国の他大学に比べて薄くなっているように見えます。残念です。MJ57
- *愛媛大学法文学部同窓会のますますの発展と充実を願います。YN99
- *気力、体力を養い活躍を祈る。SY63
- *たいへんな世の中ですが、勉学、スポーツに励んでください。TN90
- *今できる最大限の努力を！ 応援しています。KK83
- *同窓会報を楽しく読んでいます。皆様のご活躍をたのしみにしています。HO73
- *皆様のご活躍を心よりお祈りしております。TM94
- *卒業して十余年経ちましたが、会報で法文学部の近況を読んで先生方や学生の奮闘を知り、励まされてます。KM09
- *活躍、前進し続ける母校の姿には、遠くにいてもいくつになっても元気を頂いています。YK89
- *4月に長男が法文学部に入学しました。法文学部同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。MT87
- *ようやくアフターコロナとなりましたが、学生生活の充実を祈念しています！ KK83
- *先日、10年ぶりに松山を訪れ、懐かしい空気に心がほぐれました。学生の皆様、松山を存分に味わってください。KI02
- *主人も私も娘もお世話になった法文学部!!ますますの御発展をお祈り申し上げます。YA86

Q&A

「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

Q 大学生活の時間、過ごした時間のほとんどを水上競技部(水泳部)で過ごしました。夏だけでなく、一年中、ビワの木が生えている大学プールにいたものです。今もビワの木があるのかなあ？ 懐かしいです。

A プールサイドの一角に、ちゃんとビワの木が残っていました。(写真撮影：2024.4.4)



Q 「愛媛大学法文学部同窓会」はおかしい。越智中学と今治南高の同窓会は「越南会」としています。これを例として名称を変えるべきです。例えば「愛媛大学法経文会」とか。本会の正式名称は「愛媛大学文理学部人文科学部ならびに法文学部同窓会」で、略称として「愛媛大学法文学部同窓会」という名称を使用しています。

1968年改組時に法学科と文学科で発足した経緯によるものであり、学部の正式名称は「法文学部」ですから名称変更は考えられません。

沿革を説明すると、旧制松山高等学校を母体とする新制国立大学である愛媛大学文理学部の人文科学科は、文学科・法経学科を経て人文科学科に落ち着きました。

文理学部人文科学科は、(甲)と(乙)に分かれていて、それぞれ(甲)には哲学(哲学専攻)、史学(史学専攻)、文学(国語・国文学専攻、英語・英米文学専攻、独語・独文学専攻)の3課程が、(乙)には社会科学課程(法学専攻と経済学専攻)が置かれていました。

改組再編が進んだ結果、1968年に法文学部が発足し、法学科と文学科が置かれました。(当初は法学科と経済学科、文学科の3学科体制が目指されていました。)

1981年度には経済学科が独立しましたが、1996年には3学科から総合政策学科と人文学科の2学科へ改組されました。そして、2016年4月、法文学部は人文社会科学の1学科制へ改組され、現在に至っています。

Q 寄付で成り立つ同窓会運営は疑問

A 決して寄付を強要しているものではありません。もともと寄付がなくても運営はできていましたが、消極的なレベルにとどまっていた。これをもっと積極的な内容にするべく、「会員からの寄付を原資として、同窓会活動をより活性化し、法文学部学生支援事業を充実させることを目的として」2017年に寄付を創設しました。

同窓会役員・理事の方々には引き続いてボランティアでご協力いただいておりますが、会報誌の発行・郵送等のようにかなりの費用がかかっている活動もあります。

同窓会の活性化に向けて、学生アンバサダー制度を導入したり、支部活動への支援に注力したり、法文学部生の海外派遣のために大学に寄付する等、寄付金は有効に使われていますので、ご理解をお願いしたいと思います。

Q 地域毎で同窓会をして欲しい

A 「現在、本部のほか、関東(東京)・関西(大阪)・中国(広島)・四国(松山)の4つの支部が活動しており、地域毎で同窓会活動を展開しております。最寄りの支部の事務局へお問い合わせをみることをお勧めします。

各支部の活動イベントあるいは愛媛大学ホームカミングデイに合わせてミニ同窓会を開くのも良いと思います。条件が合えば補助金も獲得できるかもしれません。

能登に鬼 羽田に火翼 寒の月

橋本 吉博

1964年人文学科乙(経済学専攻) 卒



令和6(2024)年は、とんでもない事故で幕を開けた。風光明媚な能登半島は元日の午後突然、最大震度7の大地震に見舞われて161人が死亡。翌2日には羽田空港で着陸しようとした旅客機が滑走路で小型飛行機と衝突して炎上、6人が死亡、14人がけがをする大惨事が起きた。

能登半島地震は、多くの人が帰省してお正月の料理を楽しんでいた元日の午後4時すぎ、マグニチュード7.6の地震が起きた。津波も押し寄せ、多くの家屋が全半壊して、石川県だけで28,000人が避難生活を余儀なくされた。

自衛隊や全国各都道府県の消防隊員らが駆け付け、懸命の救助作業に当たった。押しつぶされた家屋の中で安否不明の人を救助しようという作業は昼夜関係なく続けられたが、これまでに222人(関連死含む)が亡くなった。

羽田空港の事故は、着陸しようとした新千歳発の日本航空516便機が滑走路上に止まっていた海上保安庁の小型飛行機に衝突、炎上するという考えられない大惨事になった。

旅客機にはお正月に帰省していたUターン客など乗員乗客379人が乗っていた。衝突直後に機体が火を噴き、燃えながら滑走路を滑っていった。

乗客が撮った機内の映像がテレビで流されたが、窓から燃え上がる炎が見え、煙が充満する中で一人の犠牲者も出さなかった。衝突から全員脱出までわずか18分間。

「背を低くして鼻と口をふさいでください」

「荷物は持ってはいけません」

「脱出シューターが破れます。ハイヒールは脱いで」

機長と連絡が取れず、キャビンアテンダントが咄嗟に安全なドアを識別して誘導。一人でも指示に従わずに荷物を持ち出そうとすれば機内はたちまちダンゴ状

態になり、多くの犠牲者が出たと考えられるだけに「まさに奇跡だ」と全世界にニュースが流れた。

日ごろの訓練のおかげで適切な指示、乗客同士の見事な連携が生まれ犠牲者を出さずに済んだ。

日本列島は太平洋プレートと北米、フィリピン、ユーラシアプレートと4つのプレートがせめぎ合う上にある。著名なマグマ学者の巽好幸神戸大院教授によれば、この120年間にM6以上の地震が1,300回、110もの活火山の活動があり、世界で最も危険な地帯。全地球の2割の地震と8%の火山が集中する日本列島は、いつ地震が起きても不思議ではない(災害列島)で、覚悟と準備が必要だという。

能登に鬼 羽田に火翼 寒の月

今回、タイトルにした俳句は正月早々のこの大惨事を読んだ今年最初の俳句である。信じられない、それも正月早々のダブルの悲劇に多くの人が息を飲み、テレビ画面のライブ映像を13年前の東日本大震災とダブらせながら見入ったであろう。犠牲者は4月8日現在245人になった。心からご冥福をお祈りします。

合 掌



ただ、能登半島地震でも残念なことがあった。被災した家屋にボランティアの顔をして入り込み、盗みを働く者が出たのだ。

以前、ビートたけしが「火事場泥棒は射殺してもいい」と発言して物議をかもし、今回もネット上で同調者が現れた。

人の痛みに寄り添うどころか、つけ込む卑劣な犯行は許せない。ボランティア元年と言われた阪神・淡路大震災を経験した者として、被災地に全国から駆け付けて救援活動する人たちに向けられる目が、この一事で変わることがないことを祈りたい。

文理学部人文学科(乙) 昭和38年卒業同期会



文理学部人文学科(乙)昭和38年卒業生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行(2023年5月)を受けて、2024年4月6日(土)にANAクラウンプラザホテル・日本料理“雲海”で同期会を開催されました。

当日は、県外からの参加を含めて総勢9名の方が集まり旧交を温められたそうです。

〔関西支部にきたつ会〕 奈良・飛鳥路ウォーキング

「にきたつ会」では令和6年6月2日(日)に『奈良・飛鳥路ウォーキング』を開催しました。

当日は10時に飛鳥駅前「飛鳥びとの館」に集合した後、吉備姫王墓（猿石）、鬼の俎 鬼の雪隠、天武持統天皇陵、亀石、橘寺（聖徳太子生誕地）を散策し、明日香の夢市で『古代米御膳』で昼食。午後は石舞台古墳、酒船石、亀形石造物、万葉文化館を見学のあと橿原神宮前駅で解散。

当日は、にきたつ会の島田光照会長をはじめ総勢14人が参加し、爽やかな新緑のなか、古代ロマンに触れながら約6kmの飛鳥路を散策する楽しいウォーキングとなりました。



ボランティアガイドで活躍されている永尾真一さん（にきたつ会会員）にご案内を頂きました。

文理学部人文学科（乙） 昭和42年卒業同期会



4月、コロナの影響で中断していた昭和42年文理学部人文学科（乙）卒業生による第6回目の同窓会を、春爛漫で賑わう大阪造幣局の桜の通り抜けと奈良で行いました。

同窓生は既に後期高齢者に入り6名の参加者でしたが、次回は多くの参加を期待しています。

（世話役代表 岡田 謙二）

同窓会 提供講座『社会と人間』

報告

第17回目の提供講座は、2023年10月4日から2024年1月31日まで毎週水曜日の5限帯に開講され、講師の先生方を愛媛県下又は東京からお迎えして行われました。

ご担当教員の兼子純先生、高橋弘臣先生、高橋基泰先生、松本圭史先生並びにTAの学生の皆様のお力添えを賜り、滞りなく全15回を完遂いたしました。この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

1月31日の最終講義後に、松本会長よりお手伝い頂いた先生と学生の皆様へ感謝状が送られました。そして当夜久々に講師懇親会を開催いたしました。



回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/4	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 会長／愛媛大学名誉教授
2	製造業で働く働く女性の現在	10/11	谷水 恭子	三浦工業株式会社 人財統括部 統括部長
			岩村 菜央	三浦工業株式会社 食機・メディカル設計管理課
3	脚本家という仕事	10/18	岸本 卓	脚本家
4	金融業界で働く	10/25	原田 智裕	伊予銀行法人コンサルティング部 所属
5	放送業界で働く	11/1	細谷 佳菜	日本放送協会 クリエイターセンター〈第1制作センター〉ディレクター
6	広告・印刷業界で働く	11/8	阿部 健典	セキ株式会社 事業企画営業二課
7	教育の現場で働く	11/15	廣兼 朗子	済美高等学校教員（英語）

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
8	学芸員として働く	11/22	甲斐末希子	愛媛県歴史文化博物館 主任学芸員
9	真珠養殖業で地元を盛り上げる	12/6	山下 奈美	山下真珠有限会社
10	警察官として働く	12/13	江藤 宏隆	愛媛県伊予警察署 生活安全課 課長
11	行政書士として働く	12/20	河村 佳和	行政書士 河村佳和事務所
12	愛媛県庁で働く	1/10	西谷 幸真	愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局地域スポーツ課 主任
13	小売業で働く	1/17	梅本 葉月	株式会社フジ リテイリング 生鮮食品事業部 マルシェ事業運営部 係長
14	大学職員として働く	1/24	伊藤 剛大	愛媛大学研究支援部研究支援課 研究企画・戦略チーム
15	ま と め	1/31	重松 直江	愛媛大学法文学部同窓会 副会長／重松直江税理士事務所

提供講座の受講生に対するアンケート結果

Q1. 講義を受講してみて、全体的に満足 of いくものでしたか。

とても満足 58% やや満足 38%
やや不満足 3% とても不満足 1%

Q2. 講師の先生方の話は、あなたのキャリアを考える上で参考になりましたか。

とても参考になった 62% やや参考になった 35%
余り参考にならなかった 2% 全く参考にならなかった 1%

Q3. そのように答えた理由をお答えください。

- 様々な職業に就かれている方や多様な背景を持った方が人生の先輩として非常にためになる助言・お話をしてくださったから。

- 業務内容や、就活のポイントがよく分かった。特に就活のポイントは今後の参考になった。
- 多種多様な業種についている先輩方の生の声を聞くことができたのが大きい理由です。また、良いことばかりではなく後悔していることや、今に至るまでの紆余曲折を教えて頂けるが多かったので全てが上手くいく訳ではないのだと安心しました。
- どの講師の方も、まずは挑戦してみることが大事とおっしゃられていたことが非常に印象的でした。
- 色々な方の人生に触れることができ、道は一つでは無いということを感じられたから。

2024年度 提供講座開講のお知らせ

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/2	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 会長／愛媛大学名誉教授
2	広告・印刷業界で働く	10/9	米田 聖	セキ株式会社松山営業部 営業1課 課長
3	松山市役所で働く	10/16	大隅 哲平	松山市役所健康保険課 主査
4	脚本家という仕事	10/23	岸本 卓	脚本家
5	放送業界で働く	10/30	月岡 瞳	南海放送株式会社 新時代FM推進局
6	旅行業界で働く	11/6	田川茉莉子	株式会社阪急交通社松山支店 営業係・係員
7	警察官として働く	11/13	江藤 宏隆	愛媛県警察本部生活安全部生活環境課 企画・指導課長補佐
8	製造業で働く女性の現在	11/20	武市志奈子	三浦工業株式会社 船用業務管理部 船用設計管理課 係長
			岡本 瞳	三浦工業株式会社 船用事業推進部 船用EM推進課

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
9	学芸員として働く	12/4	甲斐末希子	愛媛県歴史文化博物館 主任学芸員
10	教育の現場で働く	12/11	伊藤 架音	新田高等学校国語科教諭
11	金融業界で働く	12/18	金子 剛	愛媛銀行公務ふるさと振興部・副調査役
			森藤加奈子	愛媛銀行ソリューション営業部・主任
12	行政書士として働く	1/8	河村 佳和	行政書士河村佳和事務所・代表
13	小売業界で働く	1/22	川野 亮子	株式会社フジ フジグラン松山 販促主任
14	大学職員として働く	1/29	伊藤 剛大	愛媛大学研究・産学連携支援部 研究・産学連携支援課 研究企画・戦略チームSL(サブリーダー)
15	ま と め	2/5	重松 直江	愛媛大学法文学部同窓会 副会長／重松直江税理士事務所

講師の方に感想をお聞きました！

第7回「教育の現場で働く」

済美高等学校教員（英語）

廣 兼 朗 子



学生時代からの夢であった英語科教員として働くようになり、所属していたゼミの先生からお声がけをいただきました。現役の大学生の皆さんの前でお話しさせていただくという大変貴重な機会をいただきありがとう

ございました。みなさん一人一人が熱心にこちらに耳を傾け、目を光らせ、メモをする手をひたすらに走らせておられたことが印象的で、嬉しかったです。また、学生の皆さんからの質問や感想から私自身も学ばせていただくことがたくさんありました。ありがとうございました。

法文学部には教職課程を履修する学生も多くおり、教員を目指すか民間就職を目指すか迷う人が多いのではないかと思います。そんな学生の皆さんに、教員の仕事のリアルをお伝えして進路選択のきっかけの一つになればと思いお話しさせていただきました。教員の仕事はよく、ブラックだからと避けられてしまうことが多いので、実際の業務や仕事の魅力をお伝えしました。働き方改革によって労働時間が一昔前よりは短くなってはいるものの、残業量やプライベートの確立の難しさという大変な面もありますが、それ以上に生徒たちの成長を見届けるやりがいや、生徒から得られる学び・喜びが大きいことが、この仕事にしかない何よりの魅力だとお話しさせていただきました。

学生の皆さんが送ってくださったたくさんの質問や感想をすべて拝読しましたが、誰もが慎重に進路について考えを巡らせている様子が伺えました。自らの進路について考えれば考えるほど、自分のやりたいことがわからなくなるという経験は誰しもあると思います。そんなときだからこそ、思い切って新しいことにチャレンジしてみたいと思います。そこでの経験、出会う人とのつながりなど、そこからさらに情報が得られ、気づけば自分が夢中になっているものがきつと見つかると思います。これから社会に出て活躍する学生の皆さんには、自分の力で情報を獲得し、行動し、結果をつかみ取る強さを持ち、胸を張って進んでいてもらいたいです。そんな皆さんにとって、進路選択のきっかけの一部、不安を少しでも和らげることができたのなら大変嬉しく思います。

第11回「行政書士として働く」

行政書士河村佳和事務所 代表行政書士

河 村 佳 和



今回、提供講座のお話を頂き、内容についてはタイトル通りの「行政書士の世界」と、もう一つ大きなテーマとして「仕事とは」ということをお話しさせて頂きました。なぜ、このテーマにしたかというと、提供講座

の説明会の時に「学生たちは先輩方の苦労話や失敗談に対して反応が良い傾向があります」というお話を担当の先生から聞いたからです。

なるほど、では働くということがどれだけ大変なことか、社会に出る前に学生の皆さんに知って頂こうということで、私の前職であるクリエイティブ業界の（とってブラックな）労働環境を例に語らせて頂きました。50分という時間制限がありましたので相当早口になってしまいましたが、学生たちの反応を見るに、やはり後半の「仕事とは」のテーマの方が興味を持っているようでした。講座の最後に質問時間が設けられているのですが、こちらやはり後半のテーマに関する質問が多かったです。その後半にお話しした内容は概ね次のとおりです。『①働くということは大変なこと ②実生活における「仕事」の位置 ③「仕事」に対する価値の変遷 ④なぜ働くのか ⑤日本と海外の「仕事」に対する考え方や向き合い方の違い』この中で特に反応が良かったのかなと私が感じたのは②と③です。

さて、昨今退職代行が流行っているという話をよく聞きます。自分から会社に辞めますと言えない方々に対して、代行会社が代わりに退職の意思を伝えてくれるというビジネスです。このサービスの利用者は大きく2種類に分けられるそうです。一つはただ単に自分に合わない等のふわとした理由で辞めたいという方、もう一つが会社からパワハラ等を受け心身ともに擦り潰されそうになっており過労死・自殺一歩手前の方だそうです。私がお話しさせて頂いた内容も実は①は前者、②～⑤は後者に向けた内容です。

学生の時分でこの話を聞いてもおそらく半分も伝わっていないと思いますが、実際に社会に出て働くようになってからでも私の話の意味を少しずつわかっていくてくれればと思います。ただ働くのではなく、心身ともに健やかに働くことが大事なのだということが伝わってくればうれしい限りです。

愛媛大学ヨット部

前回のサークル紹介の弓道部取材時に印象に残った言葉は「凜(りん)」でした。今回ヨット部の皆さんから伝わってきた熱い思いは「自然」です。取材に先駆けて愛媛大学19期生の友人(女性)に話を聞くことができましたので、まずそちらを紹介しましょう。ちなみに今年の新入生は70期にあたります。

彼女は高校まで陸上部に所属していましたが、愛媛大学に入学すると同時にヨット部のドアをたたいたのだそうです。当時、ヨットは男だけのスポーツという気風が強かったといいます。主将は戸惑いながらも「男子部員と区別しない」という条件で入部を許可してくれたそうです。それまでに何年か間を空けて女子学生がヨット部に籍をおいたことはあったようですが、4年間最後まで続けたのは彼女が初めてということでした。その後部員が3名まで減り廃部の危機もありましたが、現在は27名の部員を抱え、今年度の新入部員は10名、うち4名が女子部員だということです。

取材は5月8日(土)朝、堀江海岸で行いました。夕方から雨、という天気予報とは裏腹に風が心地よく良いお天気でした。緑の松原、白い砂浜、青い空、そして青い海！砂浜から海へ出たかと思うと白い帆を張ったヨットは風をとらえてあっという間に滑り出します。気が付けばはるか彼方を悠々と走っているではありませんか。ヨットだけでなく部員のみなさんも、そして取材をしている私たちさえも、まさに「豊かな自然の中に身を置いている」という表現がピッタリでした。



ヨット収納庫

さて、愛媛大学ヨット部は1年間の愛好会を経て1955年に正式に部として発足。その後梅津寺海岸にあった艇庫を伊予市森海岸に移し、シーズンがやってくると艇を堀江に運んでいます。練習はB&G松山海洋

クラブ所有の建物を借りて目の前の堀江海岸で行います。堀江での練習は基本的に週末と長期の休み、堀江への往復はもっぱら自転車です。愛媛大学所有のヨットは10艇ですが実際に動かすのは6艇。たくさんいる部員は砂浜に艇を運び出すと、次々と手際よく丁寧に組み立てていきます。いつの間にか海上には白い帆を張った何艇ものヨットとそれを補助するボートが並びました。現役学生だけでなく数名のOBも加わり実に美しい光景でした。

OBの話が出ましたのでここで「^{あいほかい}愛帆会」について一言。愛帆会はヨット部OBが組織する会です。その設立目的の一つには「愛媛大学ヨット部の健全育成」がうたわれており、現役部員とOBとは強い絆で結ばれています。会員数は休会も含めてコロナ前で約200名あまりです。各地でレースが開催される時には応援に駆け付け、終わればその地で親睦会を行うということも恒例のようです。そう言えばレース会場に解体したヨットを運ぶ際には何人ものOBたちが手伝い、車を出してくれるのでありがたい、という話を何年も前に当時のヨット部員たちから聞いたことがあります。

次はレースについてです。セイル広島(5月)に始まり、インカレ個人戦、インカレ団体戦、スプリングレガッタ、中四国インカレ、中国四国新人学生ヨット選手権大会、四国新人学生ヨット選手権大会、西日本インカレなど、レースは真冬を除いて年間を通じて行われています。部員の皆さんは、学業、練習、そして日本各地へヨットと共に移動してのレース、と実に多忙な日々を送っています。

主将の小林直哉さんに2つの質問をしたところ爽やかな答えが返ってきましたので紹介しましょう。

▶主将として一番気にかけていることは何でしょうか？

とにかく安全第一！事故のないように気をつけています。

▶主将として、あるいはヨットマンとしての喜びはどこにありますか？

レースに勝つのはもちろんですが、それ以上に自然の中でヨットに触れる楽しみを新入部員に知ってもらえることです。



最後になりますが、前の19期生の女性は今でも小さなクルーザーで時々海に出て自然を楽しんでいる、ということをお伝えしてこのページを終えたいと思います。

(取材：和氣坂ハナミ・廣田 章子・村上 和憲)

SailHiroshima 2024

2024.5/25(土)~26(日)
広島観音マリーナ



[国際スナイプ級]
愛媛大学ヨット部 セールNo.30319
21位/29チーム
(岩崎佳祐選手・小林直哉選手)

[国際470級]
愛媛大学ヨット部 セールNo.4743
17位/26チーム
(広狩伊央利選手・太田垣芳樹選手・位田湊梧選手)
愛媛大学ヨット部 セールNo.4844
19位/26チーム
(鈴木陽菜選手・笠井一将選手)
愛媛大学ヨット部 セールNo.4417
20位/26チーム
(新田美月選手・ブレナントミ選手)

Boat & Sailing Yacht



海上のヨットとボート

Study



練習の合間に小型船舶免許の試験勉強

Meeting



練習前のミーティング



学生アンバサダー

今年度は新たに1名がアンバサダーに加入いたしました！
皆さんの学生時代に想いを馳せながらご覧ください！

- ①特技 ②趣味
- ③愛大の魅力 ④ゼミ
- ⑤おすすめスポット
- ⑥好きな言葉
- ⑦今後の計画

NEW!!

大塚

法政コース
3回生

- ①サンドイッチ作り
- ②旅行✈️
- ③緑が多い🌿
- ④財政学のゼミ所属
- ⑤アクアカフェ
- ⑥「自分の気持ち次第で幸せは毎日転がっている」
-ラプンツェル-



アクアカフェ

⑦夏休みにインターンに行くので就活を始めたところです！また今年度からゼミが始まったのでご飯行ったりゼミ旅行行ったり楽しみです🌊

清水

法政コース
3回生

- ①だし巻き玉子作り
- ②カフェ巡り
- ③最近、エミカのお弁当の種類が更に増えました♡
- ④会社法のゼミに所属しています。
- ⑤ E.U. Regional Commons
(リージョナルcommons)
- ⑥明日やろうは馬鹿野郎
- ⑦もう3回生になっちゃったので就活頑張っています🌊
今自動車学校にも通ってるので運転免許証もはやく取得したいです～！

リージョナル
commons

大野

法政コース
4回生

- ①人の顔と名前をすぐ覚えられる
- ②温泉・サウナ
- ③図書館の開館時間が長いところ📖
- ④会社法
- ⑤芝生が開放的でリフレッシュできます
- ⑥知は力なり
- ⑦卒業旅行で韓国に行くのが楽しみです(*^^*)



大学構内の
芝生広場

岡本

人文コース
4回生

- ①一度通った道は全て記憶できます！
- ②ボードゲーム、紅茶集め
- ③教授が優しく、生徒と仲が良いことです
- ④地理学で、地域商業や商店街についての調査をしています！
- ⑤図書館と共通講義棟Aの間にある
ローズガーデン🌹
- ⑥継続は力なり
- ⑦最後の大学生活、学んで遊んで充実したものにします！



ローズガーデン



誌面制作：岡本

2024

現役学生アンバサダーが回答！

歴代リクエスト




月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※授業を片付ける日！！

※授業後はサークル活動



REQ 1 学生のスケジュール

REQ. 現在の学生の生活が知りたい。

A. 私たち学生アンバサダー2人の1週間のスケジュールをご紹介します！

勉強とサークルやアルバイト、余暇時間との両立を頑張っています。私たち2人だけでも全く違った時間割になっています。学生の興味の違いによって様々な講義を受けることができますところが法文学部の魅力だと感じています！

REQ 2 学食の様子

REQ. 学食のメニューが知りたい。

A. 韓国フェアや日本各地のグルメフェアがあるので時期によってメニューが異なり、沢山のメニューがあります！

現在はトレーチェックという制度が導入され、ミールカード保持者は専用アプリで食堂内のQRコードを読み込み写真を撮ることでレジに並ばずお会計ができるようになっています！



サーモン丼



冷やし坦々麺



ささみかつ卵とじあんかけ

REQ 3 ゼミ・サークルの様子

REQ. ゼミやサークルの様子が知りたい。

A. ◎財政学ゼミについて

財政学ゼミでは労働問題や少子高齢化などの社会課題について財政の力でどのように解決していくことができるかを学生同士で考え、研究しています。

◎サークルについて

現在は週1回定例会を行い、11月の学祭に向けて準備を進めています。



ゼミの様子



愛媛大学学生祭実行委員会

REQ 4 学内カフェの様子

REQ. 大学内の施設の様子が知りたい。

A.

◎ミュージアムカフェ (写真左)

タコライスやオムライス、カレーなどがあります！リーズナブルでボリューム満点なのでお腹いっぱいになり、午後からの授業も頑張れます！

◎アクアカフェ (写真右)

愛大ミュージズの一階にあり、焼き立てパン、ホットサンド、サンドイッチなどを販売しています。テラス席もあるので、大学内でカフェ気分を味わうことができ、良い気分転換になっています。



タコライス



焼き立てパン

誌面制作：大塚・清水



研究室紹介

社会科学講座

泉 日出男教授

経済法

Q：はじめに先生のご専門についてお聞かせください。

A：はい。私のもともとの専門は経済法という分野になります。この経済法というのは独占禁止法という法律が一番中心となる法律です。なお経済法の研究と並行して消費者法という分野も研究しています。愛媛大学での主な担当科目は「競争法政策」で、そのほか、隔年開講の科目として「消費者法政策」と「知的財産法」という科目も担当しています。基本的には競争法政策は独占禁止法という法律についての講義で、消費者法政策は消費者法に含まれる法律の中でも、特に消費者契約法という法律を取り上げた講義になります。

Q：競争法政策と比べて消費者法政策のほうが我々により身近な問題を扱う科目だと思います。具体的にはどのような講義になりますか。

A：消費者法政策ですが、現在様々な消費者トラブルが発生しています。そのようなトラブルの典型として事業者の不当な勧誘行為や契約書の中にある消費者の利益を害するような不当な契約条項があります。消費者契約法は、不当な勧誘行為を取消す規定や不当な契約条項を無効とする規定を設けている法律になります。この科目は、簡潔に言うと消費者トラブルを解決するための民事的なルールについて学ぶ講義になりますが、民法の知識が不可欠ですので、民法の復習をかねた講義になるように心掛けています。

Q：経済法も我々にとって身近な問題となりますが、競争法という名称は耳新しかったです。

A：そうですね。もともと、日本の経済法はドイツの経済法を基に発展してきましたが、戦後はアメリカの反トラスト法を基に独占禁止法を制定しました。アメリカやヨーロッパでは、一般的に、経済法のことを競争法と呼んでいます。

Q：知的財産法と関連しまして、先生には我々のマスコットキャラクターである「ぶんぼー」の商標登録をして頂きました。その時のことをお聞かせください。

A：はい。まずテクノプラザ愛媛の2階にあります知財総合支援窓口相談に行き、商標登録の手続き等について学びました。そしてゼミの学生と一緒に出願書類を作成しました。

Q：ゼミ生の方々もそういう登録を実際に体験できたことに喜びや達成感があったと思いますよ。

A：そうだといいですね。

Q：先生はNPO法人でも活動なされていますよね。どのようなことをなさっているのですか。

A：現在、適格消費者団体えひめ消費者ネット（通称「ひめネット」）という団体の副理事長兼検討委員会委員を務めています。適格消費者団体は、内閣総理大臣が認定した消費者団体で、消費者のために事業者に対して「差止請求」を行うことができる団体です。四国にある適格消費者団体はひめネットだけです。適格認定前から活動に参加していたので、認定された時の喜びはひとしおでした。ひめネットでは、

シリーズ第12回となる今回も、前号でインタビューした先生から「友達の手」式のご紹介を受け、寄稿していただきました。

消費者から相談があった問題のある契約書等に目を通して、申し入れをするかどうかの検討を行っています。これは、消費者全般に関わる不当条項等の是正を申し入れるための活動です。なお、ひめネットは、消費者の皆さんへ注意喚起の一環として消費者教材なども作成しています。



ひめネットで作成している消費者教材

Q：（実際に教材を手に取って）特に大学生向けのチケット詐欺など身近に起きる問題ですね。

A：そうですね。愛媛県やひめネットから依頼があれば、ゼミの時間を使って、ゼミ生たちと一緒に作成しているので、身近な問題を取り上げていると思いますよ。なお今年度は「SNSを通じた投資詐欺」に関する消費者教材を作成する予定です。

Q：個人的なことをお伺いしてもよろしいでしょうか。ご出身は長崎県のどちらですか。

A：佐世保市ですね。ハウステンボスの近くです。帰省の際は車とフェリーで8時間程度かかります。

Q：愛媛大学の学生の印象はいかがでしょう。

A：ほかの大学に比べたら、真面目な学生が多いと思います。「講義を始めます」と言ったらすぐ私語を止めてくれるし、本当に授業がやりやすいですね。

Q：そうですか。ご趣味などは。

A：趣味という趣味はないのですが、ちょっと腰痛持ちなので、1日30分くらいストレッチするように心掛けています。それと月に2回程度、法文学部学部長の井口秀作先生や法文学部チームの職員さんたちとバドミントンをしています。かれこれ6、7年は続けています。ちなみに学部改組前は昼休みにテニスをやっていました。

Q：愛媛大学に来られる前はどちらにいらしたのですか。

A：福岡にある短期大学で10年位教えていました。

Q：愛媛（松山）についての印象は。

A：生活はしやすいですね。特に大学周辺は便利なので、もう少し実家に近かったらよかったのですが。

Q：最後に卒業生にメッセージをお願いします。

A：元気でやってくれば、それだけが望みです。

Q：それが最高ですね。あとは顔を出してくれば、本日はありがとうございました。



卒業祝賀会にてゼミ生たちと

人文学講座

池 貞姫教授

朝鮮言語文化

Q：先生の御専門についてお聞かせください。

A：私の専門は朝鮮語学・朝鮮語教育学です。主に翻訳に関する研究と在日コリアンの教育の歴史研究です。まずは、翻訳の研究についてお話しします。朝鮮語と日本語はけっこう文法構造が似ている所があるのですが、実際に翻訳を比較すると異なる点が様々に出てきます。一つの具体例として、松山を舞台とした『坊っちゃん』における表現の違いを研究しています。韓国では、『坊っちゃん』の韓国語翻訳は40種類以上出ていて今でも新しい訳が出るくらい人気なんですよ。

Q：そんなに出版されるほど人気だとは知りませんでした。

A：最初の出版が1960年です。いろいろな翻訳を出来るだけ集めていて、おそらく私が韓国で出た『坊っちゃん』の翻訳を一番持っている人です(笑)。まあそれは良いとして、そこにはやっぱり両国の文化の違いが照らし出されて面白いのです。例えば『坊っちゃん』と『山嵐』の関係です。

Q：二人の会話は、けっこうタメ口ですよ。

A：韓国は儒教の国なので、新米教師である「坊っちゃん」が、先輩教師の「山嵐」にタメ口で話すなどというのは、韓国の人には衝撃みたいです。これではちょっと訳せないということで、韓国の文化に基づいた丁寧な言い方の訳になるのですが、一方でタメ口だから勢いが良い「坊っちゃん」像が生まれている面を生かす訳もある。原作を生かす訳と韓国の文化に則った訳、二人の関係だけでも訳者によって違ってきます。

Q：どちらに重きを置くかで違ってくるわけですね。

A：これが研究の一つの大きな成果だと思います。もう一方の研究は、在日コリアンの教育の歴史についてです。

Q：苦難の歴史ですよ。

A：私自身が高校まではいわゆる朝鮮学校に通いました。そこで言語や文化などのアイデンティティの基盤が出来たと思います。そのような基盤の上で、のちに愛媛大学の同僚の先生を通して、戦後のGHQの検閲制度を知り、先達が我々のアイデンティティをどう守ってきたのかということに関心が湧き、アメリカに、検閲済みの朝鮮学校の教科書資料調査に行くなど研究を重ねて来ました。この二つの研究は自分からというよりは、ご縁から結実した研究だと考えています。

Q：というのは。

A：学部時代は仏文科で、今でもフランスが大好きです。しかし、指導教員の助言を受け、大学院は朝鮮語学を専攻しました。そのようなご縁に恵まれて愛媛大学に就職しました。当時、朝鮮語はあまり脚光が当たっていませんでしたが、半歩先をみた助言を頂いたと思います。このように、良いご縁を得て興味深い研究対象とめぐり逢ってきました。そして、私は退職まで残すところ4年半となり、現在は研究の集大成として、在日コリアンの人たちがどの様な心持ちで朝鮮語を学び、自らのアイデンティティを確立しているのか、ということ調べていこうと思っています。彼らの考え方は日本人に近くなっているのだけれど、朝鮮語を学ぶことによって、祖国の文化と現実の折り合いをどの様に付けていくのか、と

いうことをインタビューして考察していこうと思います。今までは、ご縁を感じての研究でしたが、この研究は自ら能動的に成そうとしています。

Q：個人的な質問をさせてください。休日はどのように過ごされていますか。

A：いま私は「涙の女王」という韓国ドラマにはまっています。夫婦の絆や家族愛を描いている所など泣けるシーンが多く、カタルシス効果もあり、楽しいですよ。お勧めです。身近な人も沢山見ていて大学事務の方々と今度座談会を開きます。

Q：愛媛県印象はいかがですか。

A：大好きです。温泉もあるし、食べ物、特にお魚がおいしいです。本当に好きな場所で、第二の故郷です。友だちや家族もみんな気に入っています。両親はお遍路の四国八十八カ所を踏破したんですよ。

Q：愛媛には「媛」という字が入っていますが、先生のお名前にも違う字ですが、「姫」という字がありますね。ここにもご縁が感じられます。

A：そうですね。でも、朝鮮語の名前としては、少し古風な感じがあると思います。

Q：綺麗なお名前だなと思いますよ。

A：(画像を見せて頂き)これは、私の妹が還暦祝いに制作してくれた「文字図」で、近々送ってきます。

Q：ゼミの様子はいかがですか。

A：和気あいあいとやっています。けれど学生からは厳しいところもあると言われますが。ただ最近は厳しさのキレが悪いと言われたりしています(笑)。そういうことが言い合える厳しくも雰囲気の良いゼミだと思います。

Q：最後に卒業生にメッセージをお願いします。

A：他言語を学び、他言語の話者とコミュニケーションすることは、自分の壁を超えて行き新しい世界が開けることです。言語を勉強することは、いつでも、今からでも可能です。自分の言の葉を広げ紡いで、新しい世界と、新しい自分とぜひ出合ってもらいたいです。



「姫」の文字図



韓国式餅ケーキの試食会



卒業式にて

Career Report



司会者・ナレーター
後藤 珠希

[2006年卒業 総合政策学科]



鳴門市ドイツ館での第九初演100周年記念式典にて

社会人として航空業界での勤務を経た後、法文学部に3年次編入試験を受けて入学しました。25歳のときでした。次は“長く勤められる仕事をしたい”そう思って目標に定めたのが、結婚式の司会者になることでした。時代も移り変わり、今ならまた違った価値観で他に夢を追いかけたかもしれませんが、当時の私にとっては理想的な職業でした。在学中は少しでも目標に近づく為に、イベントのMC、テレビ局のアルバイト、松山市のPR大使と、喋りが上達すると思われる経験を楽しみながら積んでいきました。その甲斐あってか、卒業後は愛媛朝日テレビで番組を持つことができ、局を卒業してからは放送業界や大使時代に知り合った皆様からご縁をいただきながらフリーランスの司会者として活動し、現在22年目を迎えました。

仕事内容としては、結婚式の他に式典や講演会の司会進行、トークショーでの聞き手役などがあります。基本的に「いち現場に いち司会者」。その場に選ばれ立たせていただいていることへの感謝をいつも忘れません。どの会も一度きり、大変やり甲斐を感じています。他にはナレーションの仕事もしています。テレビのコマーシャルで流れる企業や商品のPR、イベント告知などを決められた尺に収めて、編集者、又はスポンサーの好みに合うよう声のトーンを変えて数パターンを収録します。なお、収録場所に出向くのではなく、自宅のブースで“宅録”しています。依頼のメールが届くとすぐに収録に取り掛かり納品。このスピード感

が受けてか「よく声を聞く!」と言われます。ナレーションはテレビで流れるものだけではなく、例えば松山空港のエスカレーターの声、坂の上の雲ミュージアムで流れる声、船の中で流れるアナウンスや機械から聞こえてくる警告の声など多岐にわたります。原稿が送られてくる度、こんなナレーションもあるんだなあと思ひ側も面白く思うものですから、近い将来AIの自動音声に置き換えられるまで続けたいと思います。

さて、愛媛を地盤として、結婚式の司会においては約1,500組を担当させていただきましたが、そんな私も自身の結婚で約6年前に慣れ親しんだ松山を離れました。現在は出身地の徳島で活動しています。故郷といえども仕事をはじめするには新天地。愛媛でいた頃のようなスピード感とはいきませんが、地元だからこそ生涯忘れられない仕事に出会えることもあります。中でも、生まれ育った鳴門市は“ベートーヴェン第九”が100年以上前にアジアで初めて演奏された地。それらに関連するイベントにお声掛けいただいたことは司会という枠には収まりきらない思いでした。映画の舞台にもなり、主演の松平健さんとのトークショーでは、「舞台になったまさにあの場所出身の司会者?」と、あまりにピンポイントで驚かれました。

冒頭大学時代の経験を記しましたが、思い出すのは友人たちとの何気ない時間です。特に編入生の仲間たちと出会えたことは宝です。彼らは卒業後、警察官になって水中に潜って捜索をしたこと、車のディーラーで営業として売り上げ一番になったこと、子育てが落ち着いて新たに起業しようとしていること、思いがけず金融業に転職したことなどを折に触れ話してくれます。それぞれが置かれた場所で、良い時も思うようにいかない時も頑張っています。志半ばで亡くなった友人もいます。みんなの顔を思い出すと、愛媛大学で過ごした時間はかけがえのないものであったと感じます。

ひとつひとつの経験が自らを形成してくれ、それらが糧となり、人様の前で話す仕事ができている。改めて日々研鑽すると共に、亡き友人に恥じない人生を歩んでいきたいと思っています。



各地にいらっしゃる法文学部卒業生の皆様と、愛媛大学法文学部同窓会の益々のご発展をお祈りいたしまして結びとさせていただきます。



普段の司会の様子

Career Report



えひめ洋紙(株)

日野 大悟(旧姓・橋本)

[2009年人文学科卒業]



会社倉庫にて(本人)

紙の多い生涯を送って来ました。思い起こせば、愛媛大学でも文学を専攻し、書庫へ通う日々もありました。

みなさんは紙卸商という職業をご存知でしょうか。紙というのは、もはや生活にはなくてはならないもの。それらが製紙会社で作られ、どういう商ルートを経て皆さんの手元に届いているのかをご紹介します。

全国各地にある製紙会社で作られた用紙はその後、代理店→紙卸商→小売店・印刷会社→顧客という流れを経て、例えばオフィスのコピー用紙であったり、学校の画用紙だったり、お手元の会報となって消費者のもとへ行きます。

すべての紙がこのような商ルートの販路をたどっているわけではないですが、なぜ一つの商品にこんなにも企業がかかわってくるかという、それは紙がもはや水や電気と同じくインフラに近い使用量があるからです。全国各地の需要に対して製紙会社だけでは対応できません。そこで様々な立場の紙屋さんが、各所へ販売しているということです。

私は愛媛の紙屋さんとして印刷会社や企業、官公庁への紙・紙製品の手配をしております。印刷前の紙だけでなく、時には封筒、病院で使われるカルテや薬袋、和菓子の箱など様々な需要に対応しています。紙というのは当たり前にもそこら中にありますが、それらは確かに多くの過程を経ているのだと、この仕事を通じて改めて感じました。また紙ならではの特性もあります。全紙といわれる大判のサイズやそれから切り出す寸法、厚

みの表記が重さであったり、価格も1kg何円というように量り売りがされている。当たり前にもそこら中にある紙というのは奥深いものなのだ、この業界に入って初めて知る紙の世界の常識に驚いたものです。

愛媛といえば、みかんや文学、恵まれた瀬戸内の水産など様々な産業や文化がありますが、紙も愛媛を代表する産業の一つです。四国中央市は紙・紙製品の製造出荷が全国トップでありその加工技術も素晴らしいものです。紙卸商として愛媛の産業の一端を担い、地域の活性になればと思っています。

また、仕事と直接関係ない活動ですが、紙屋さんで働く中で、「紙でおもしろいことをしよう」と思い趣味で始めたのが「切り絵」です。

私は1枚の紙を切ってスラッシュ切り絵をというものを作っています。これは斜めに走る線の太さ細さを調節して、陰影やグラデーションを作るちょっと変わった表現法です。

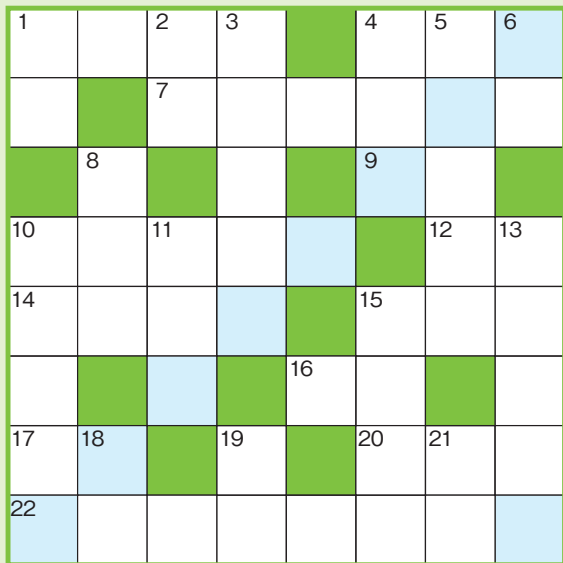
作るサイズはA4が多いですが、1作品作るのに5時間から10時間ほどかかります。始めてから作った作品数は数えたことはないですが、多分100は超えていると思います。それらはありがたいことに、様々なところで展示させていただき機会をいただき多くの方に実際に目にさせていただくこともあります。何も知らずに初めて作品を見た人たちは、口をそろえて「え、これ切り絵なんですか？」と驚いていただき、作者冥利に尽きますね。



夏目漱石の切り絵

これらの切り絵を簡略化し30分から2時間程度で完成させられるような切り絵の下絵を用意し、ワークショップで子供たちなどに切り絵を体験していただくこともあります。学校や地域の親子体験などに講師として参加させていただきました。多くの方々が作品を完成させ、その作品を見て喜んでいただけました。活動を通して紙の素晴らしさや工作の楽しさを知っていただければと思い、これらの活動は今後も続けていきたいと思っています。

私自身、学校の図工や美術の授業以外に特にアートにかかわることはありませんでした。なのに今では個展までさせていただき、表現者として活動しています。それも35歳も過ぎてから。人生、何があるかわかりません。何かを始めるのにもう遅いなんて思わず思い切って新しいことに挑戦すれば、今までの自分からはまるでウソのような世界に飛び出せるかもしれません。



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

●ヨコのかぎ

- ① スパイファミリーの娘
- ④ 懸賞に〇〇する
- ⑦ 激しい運動の後、時間差で
- ⑨ 茶色系のスポン、〇〇パン
- ⑩ デパートの一つ
- ⑫ 時代劇、〇〇黄門
- ⑭ 主戦力
- ⑮ パンに塗って食べる
- ⑯ 電車に乗り降りする
- ⑰ ー凹
- ⑳ モンスターズ・インクの主人公
- ㉒ 親戚

【解答】

- ① 阪神の優勝
- ② 『元貴』を意味するネットスラング
- ③ Y・M・C・A
- ④ 秘境
- ⑤ 餃子で有名
- ⑥ 犬も歩けば当てる
- ⑧ 北海道の地名、十勝
- ⑨ 北の読み
- ⑩ 相手の体を投げる技
- ⑪ 『時雨』の読み
- ⑫ トマス・ソーヤの通称
- ⑬ 旗本、御家人
- ⑭ ーテ
- ⑮ 円周率
- ⑯ 法人などの幹部

●タテのかぎ

応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、2024年11月30日までに本会あてお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 25人

第27号 パズルの答え

正解：マサオカシキ
(正岡子規)

パズル等の解答にいただいた個人情報、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

エ	イ	キ	ユ	ウ	ト	ウ	ド
サ	ツ	ア	カ	マ	キ		
	カ	ク	サ	サ	ム		
モ	ク	ジ	オ	ン	ス	イ	
ガ	セ	カ	ユ	メ			
ミ	ン	シ	ユ	ト	ウ	カ	
	キ	ン	コ	テ	サ	キ	
ヘ	ン	シ	ユ	ウ	イ	ン	

主なリクエスト

- 学食、校舎内、学校周辺の店の様子や変遷などを伝えてください。
- なつかしい愛大周辺の、学生お勧めのスポット紹介も楽しそうですね。
- 今の学生の紹介や、学内の様子がみたいです。
- 愛大ならではの特色ある研究（遍路文化等）の紹介等も期待しています。
- 起業の話などを載せるのも面白いと思います。
- 毎回平井氏のような記事を2件ほど（1件2ページでまとめ）
- もっと会員の情報を具体的にアップロードに掲載してほしい。

【編集後記】

- 第28号同窓会報を無事に発行することが出来ました。記事をご投稿頂いた皆さん、取材活動や編集作業に携わっていただいた編集委員の皆さん、お手伝い頂いた学生アンパサダーの皆さん、本当に有難うございました。（編集委員長 皇中）
- 同窓会会報編集委員も2年目となり、ようやく企画開始から完成までの流れがわかってきたところです。今回は副編集委員長を拝命しましたが、大変ながらも楽しく参加させて頂くことができました。（副編集委員長 河村）
- 今年も編集委員会、公式LINEの配信等に関わることができ、嬉しく思います。昨年の会報を見て声をかけてくださった方のおかげで、今年も楽しく、読み手を想像しながら作成することができました。（学生アンパサダー 岡本）
- 学生アンパサダーとして活動する中で、同窓生の皆様に会報や返礼品の感想をいただけることを大変嬉しく思っております。現在4回生のため、来年度からは一同窓生として会報を読むことを楽しみにしています。（学生アンパサダー 大野）
- 今年も同窓会会報作成に携わることができ、嬉しく思います。去年から発足したアンパサダーですが、皆様の応援で活動が支えられています。ありがとうございます。来年度も引き続き頑張ります！（学生アンパサダー 清水）
- 今回初めて同窓会報の作成に携わらせていただきました。学生生活の様子を皆様に楽しくお伝えすることができたら幸いです。今後も積極的に活動していきますので応援よろしくお願いいたします。（学生アンパサダー 大塚）

前回パズル当選者(敬称略)

解答者 126人中、正解者 126人

図書カード1,000円分 (25人)

(敬称略)

安田 浩子 (S43) 植木 昭江 (S55) 岡田恵三子 (S55)
池永 浩之 (S59) 市川 雅宏 (S62) 國枝みつよ (S62)
坂元 陽介 (H01) 一色 愛 (H06) 森田 智子 (H07)
奥田 敏也 (H08) 池田 悦子 (H09) 橋本 聖子 (H09)
山本 昌数 (H13) 川内 博文 (H14) 篠崎 清人 (H15)
越智 佳子 (H19) 加藤 瑞枝 (H20) 新階 愛弓 (H22)
谷 康太郎 (H23) 野々村哲也 (H24) 渡部万里香 (H24)
竹内 英美 (H26) 横井日向子 (R01) 大田 紘子 (R02)
林田 彩乃 (R02)

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位は愛大今昔(40人)、2位は俳句コーナー(20人)、3位は研究室紹介(17人)、4位は研究レポート(15人)、5位は卒業生から(14人)、Career Report(14人)、7位は寄稿文(13人)、8位は表紙(8人)、9位は愛媛大学ミュージアム(7人)、10位は学生アンパサダーメンバー紹介(6人)、パズル(6人) 以下、青い地球交流記(5人)、提供講座報告(5人)、サークル紹介(5人) など

意見・感想

お褒めやお礼、励ましの言葉（特に、コロナ禍での活動に関して）をたくさんいただきました。

- 毎回会報が届くたびに大学時代を思い出します。子供が大きくなったら一緒に松山を訪れてみたいです。
- 今回のクロスワード、わりと簡単でした!! もう少し難しくてもいいかな?と思います。
- パズルは難しめだと思います。／今回のクロスワードパズル、難しかったです。／私には本気パズルで難しかったです。
- クロスワード当選に際して、旧友から連絡がきて嬉しかったです。ありがとうございました。
- 学生さんの制作ページが凝っていて、読んでおもしろかったです。
- 各ページ、細かい所まで作り込まれていて、かつ、見やすく、読み込んでしまいました。
- 表紙の写真、私たちが通っていた頃とくらべて周辺もずいぶん素敵になりましたよね!!

お詫びと訂正

前号「第26号パズルの答え」の中に誤りがありました。

(誤)「カボエラ」→(正)「カボエラ」

読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

発行 2024年9月
発行者 愛媛大学法文学部同窓会
編集 愛媛大学法文学部同窓会報編集委員会
事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内
TEL 090-1002-6376
印刷 アマノ印刷